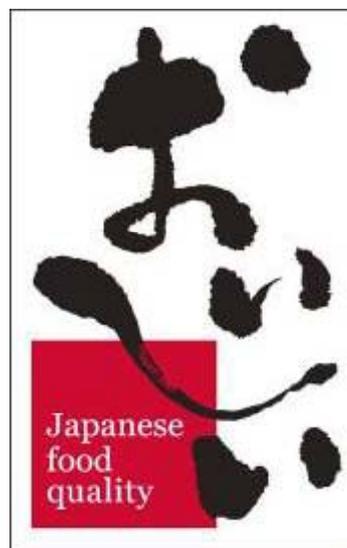


農林水産物等輸出実績（品目別）

大臣官房国際部



平成 2 2 年 6 月

農林水産省



目次

品目別内訳2		
加工食品の内訳3	野菜・果実等の内訳16
醤油4	りんご17
味噌5	なし18
アルコール飲料6	桃19
菓子(米菓を除く)7	メロン20
清涼飲料水8	ながいも等21
米菓9	いちご22
		レタス23
畜産品の内訳10	その他農産物の内訳24
粉乳11	植木等25
牛肉12	切花26
牛乳13	緑茶27
穀粉等の内訳14	林産物の内訳28
米(援助用除く)15	丸太29
		製材加工材30
		水産物(水産調製品以外)の内訳31
		真珠(製品含む)32
		ホタテ貝33
		さけ34
		すけとうだら35
		さば36
		かつお37
		さんま38
		たい39
		錦鯉等40
		水産調製品の内訳41
		貝柱調製品42
		乾燥なまこ43
		あわび(調整)44

【利用上の注意】

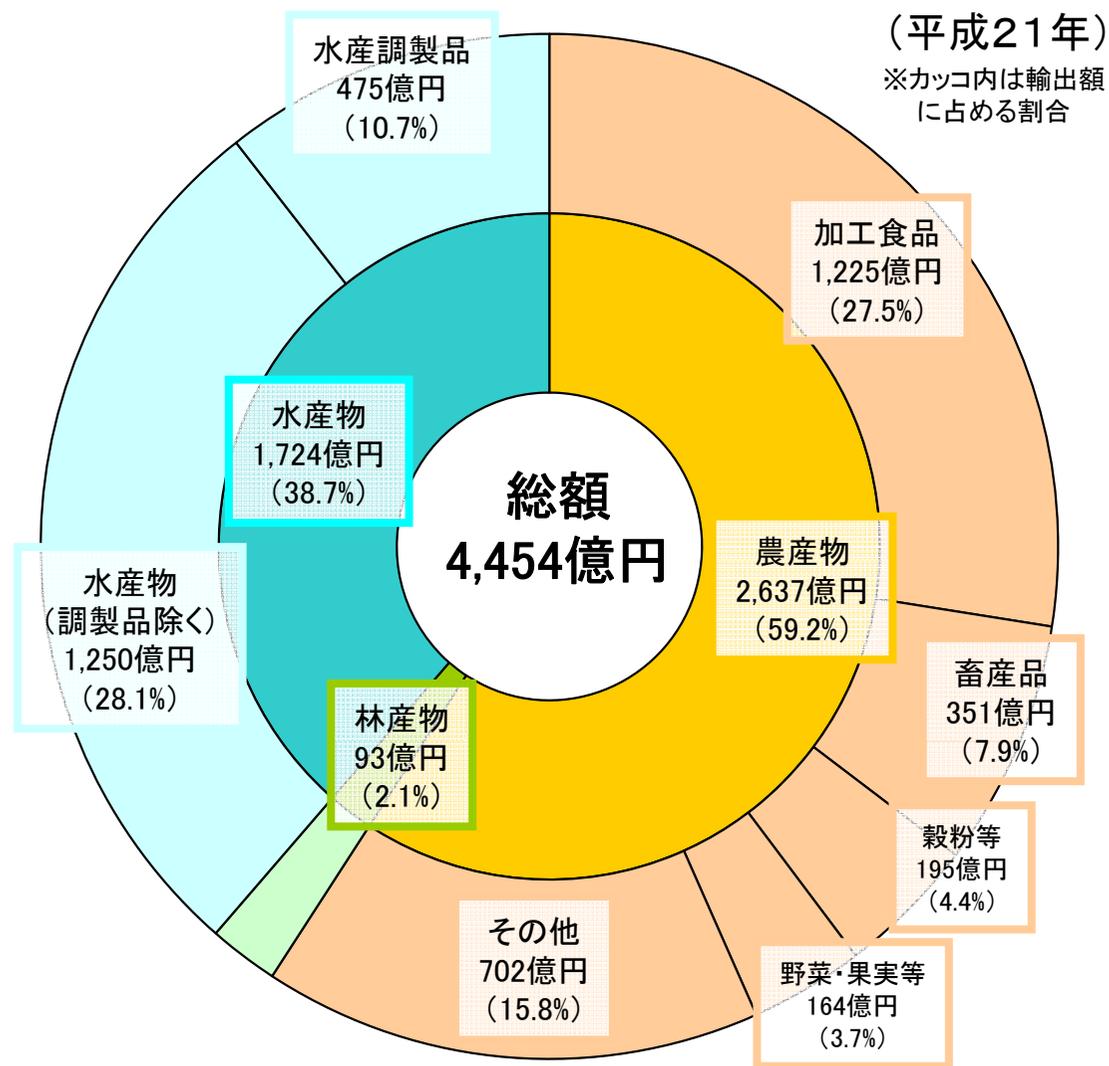
- 本資料は、農林水産物・食品の輸出に取り組む者や、これから取り組もうと考えている者の参考としていただくため、財務省が公表している「貿易統計」から、我が国の農林水産物・食品の輸出実績のうち、主な品目について取りまとめたものです。
- 本資料の作成に当たっては、誤りのないよう、細心の注意を払っておりますが、万が一、誤りがあった場合でも、農林水産省は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



農林水産物・食品の輸出額の品目別内訳

MAFF

●農林水産物・食品の輸出額を品目別で見ると、水産物が約4割、加工食品が約3割を占める。



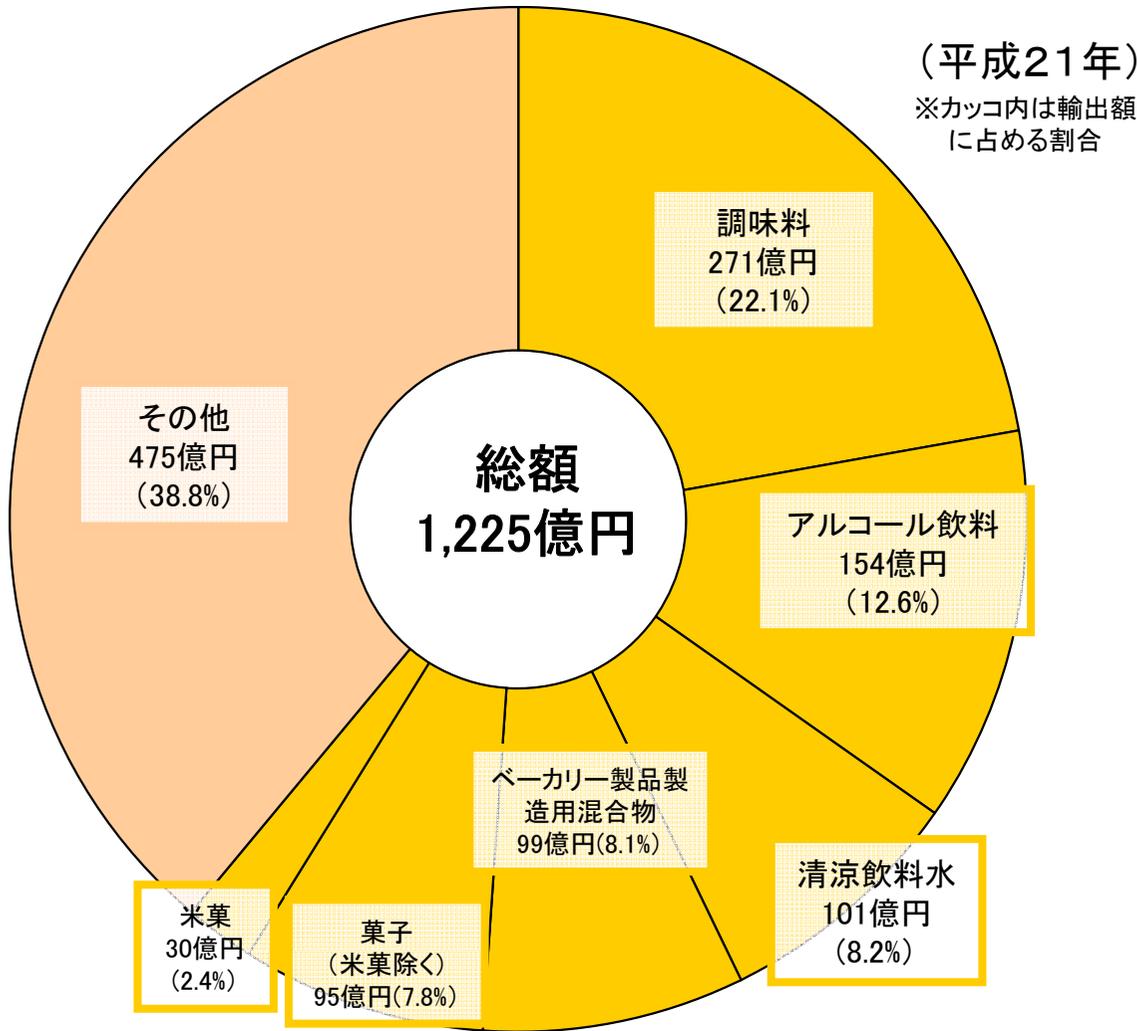
(単位:億円)

	平成20年	平成21年	増減率
農林水産物	5,078	4,454	▲12.3%
農産物	2,883	2,637	▲8.5%
加工食品	1,308	1,225	▲6.4%
畜産物	342	351	2.7%
穀粉等	245	195	▲20.2%
野菜・果実等	205	164	▲19.8%
その他農産物	784	702	▲10.4%
林産物	118	93	▲21.3%
水産物	2,077	1,724	▲17.0%
水産物 (調製品以外)	1,574	1,250	▲20.6%
水産調製品	503	475	▲5.6%
農林水産物 (※3品目除く)	4,312	3,843	▲10.9%
総輸出額	810,181	541,706	▲33.1%
乗用車	119,466	57,971	▲51.5%



加工食品の品目別内訳

●加工食品の品目別内訳をみると、調味料、アルコール飲料、清涼飲料水、菓子などの割合が多い。



(単位:億円)

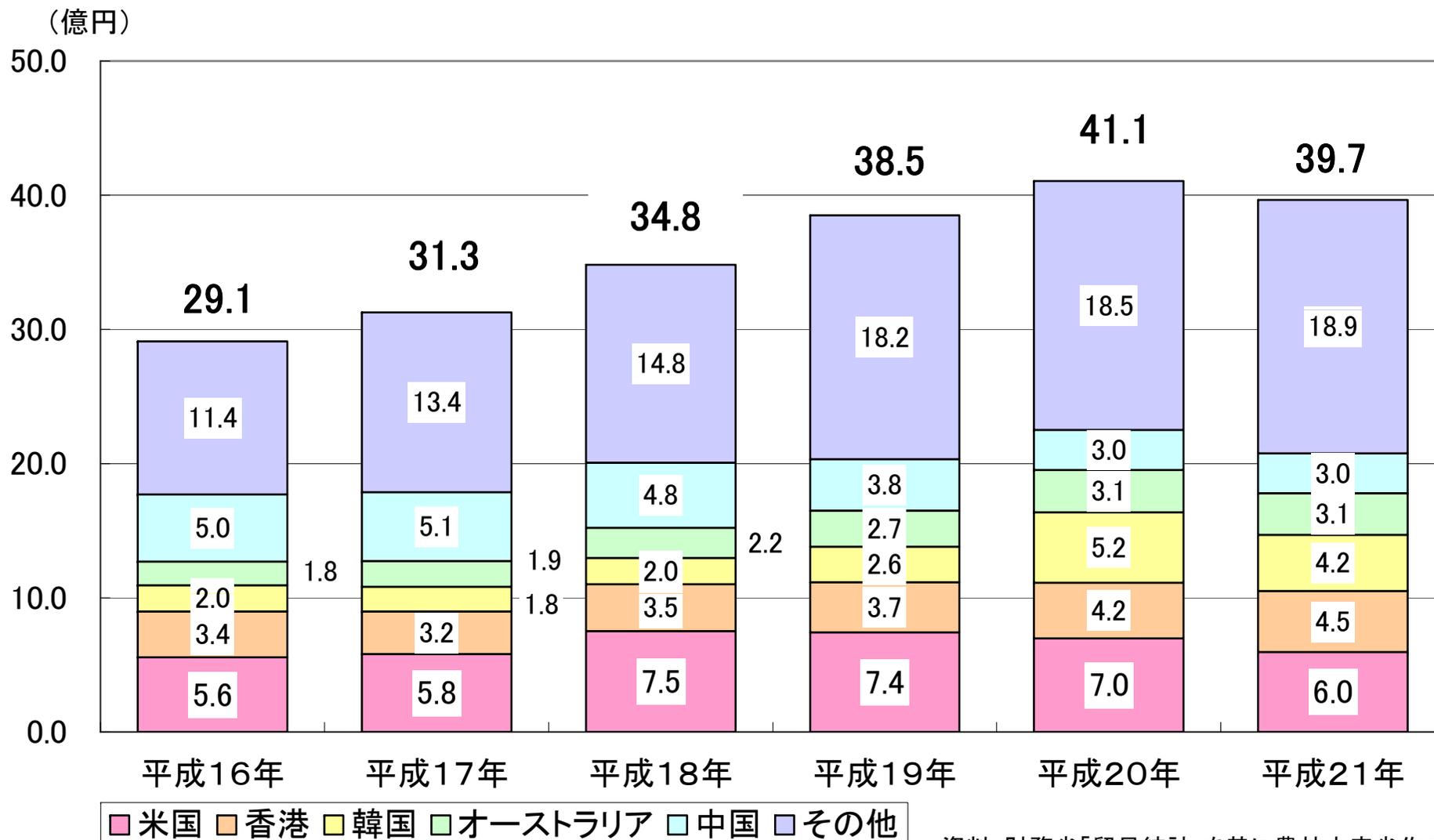
品目名	平成20年	平成21年	対前年比
調味料	264.6	270.6	2.2%
ソース混合調味料	184.9	193.4	4.6%
醤油	41.1	39.7	▲3.4%
味噌	19.9	20.2	1.8%
アルコール飲料	167.7	154.0	▲8.2%
清酒	76.8	71.8	▲6.4%
ビール	30.0	27.0	▲10.0%
しょうちゆう	15.6	13.5	▲13.4%
ぶどう酒	2.4	2.2	▲5.1%
清涼飲料水	108.1	100.9	▲6.7%
ベーカリー製品製造用混合物	116.8	99.3	▲15.0%
菓子(米菓除く)	116.9	95.4	▲18.4%
チョコレート菓子	51.2	41.6	▲18.7%
キャンデー類	42.1	34.1	▲19.0%
ビスケット	12.7	10.0	▲21.2%
チューインガム	10.8	9.7	▲10.6%
スープ プロス	47.5	45.2	▲4.8%
米菓	33.2	29.8	▲10.2%
酵母	18.8	16.9	▲10.0%
レシチン等	16.3	16.3	▲0.1%
ペプトン等	14.3	15.8	10.5%
デキストリン等	21.4	14.0	▲34.7%
アイスクリーム等氷菓	8.0	6.6	▲17.2%
その他	374.6	360.3	▲3.8%
加工食品計	1,308.2	1,225.0	▲6.4%

※ソース混合調味料・・・ソース、たれ、カレー調製品等
 ※ベーカリー製品製造用混合物・・・冷凍ピザ、たこ焼き、お好み焼き等
 ※酵母・・・ビール酵母など。健康食品や飼料の原料にも使用
 ※レシチン・・・卵黄や大豆由来の脂質。食品添加物、健康食品の原料等に使用
 ※ペプトン・・・牛乳や大豆のたんぱく質を分解したもの。食品添加物、培地等に使用
 ※デキストリン・・・タピオカなどのでん粉を分解したもの。健康食品の原料等に使用



醤油の輸出額・輸出先国の推移

- 醤油の輸出額は近年、傾向的に増加。
- 調味料の一つとして、多くの国・地域に向けて日本の醤油が輸出されている。

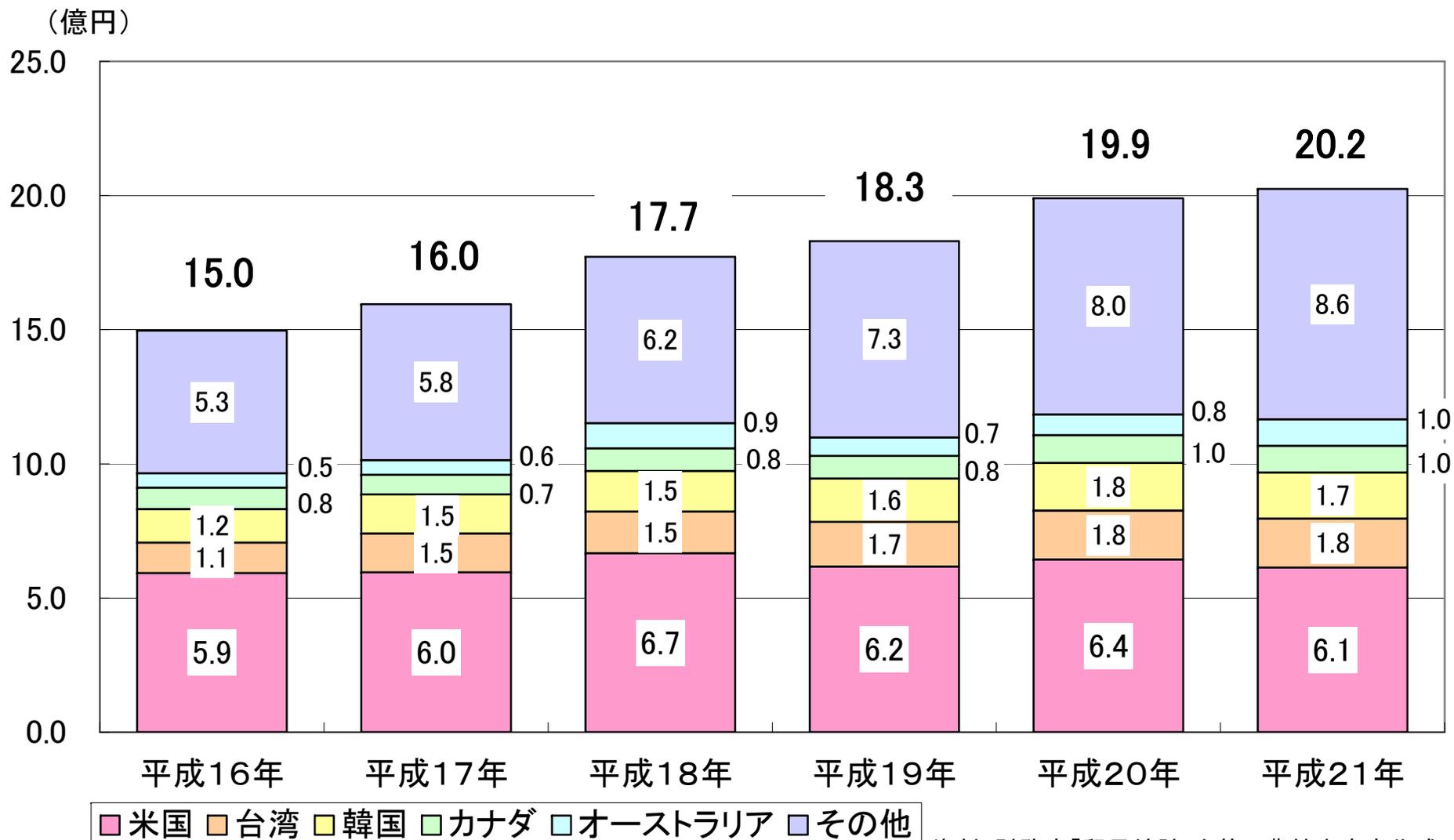


資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



味噌の輸出額・輸出先国の推移

- 味噌の輸出額は近年、順調に増加。
- 調味料の一つとして、多くの国・地域に向けて日本の味噌が輸出されている。

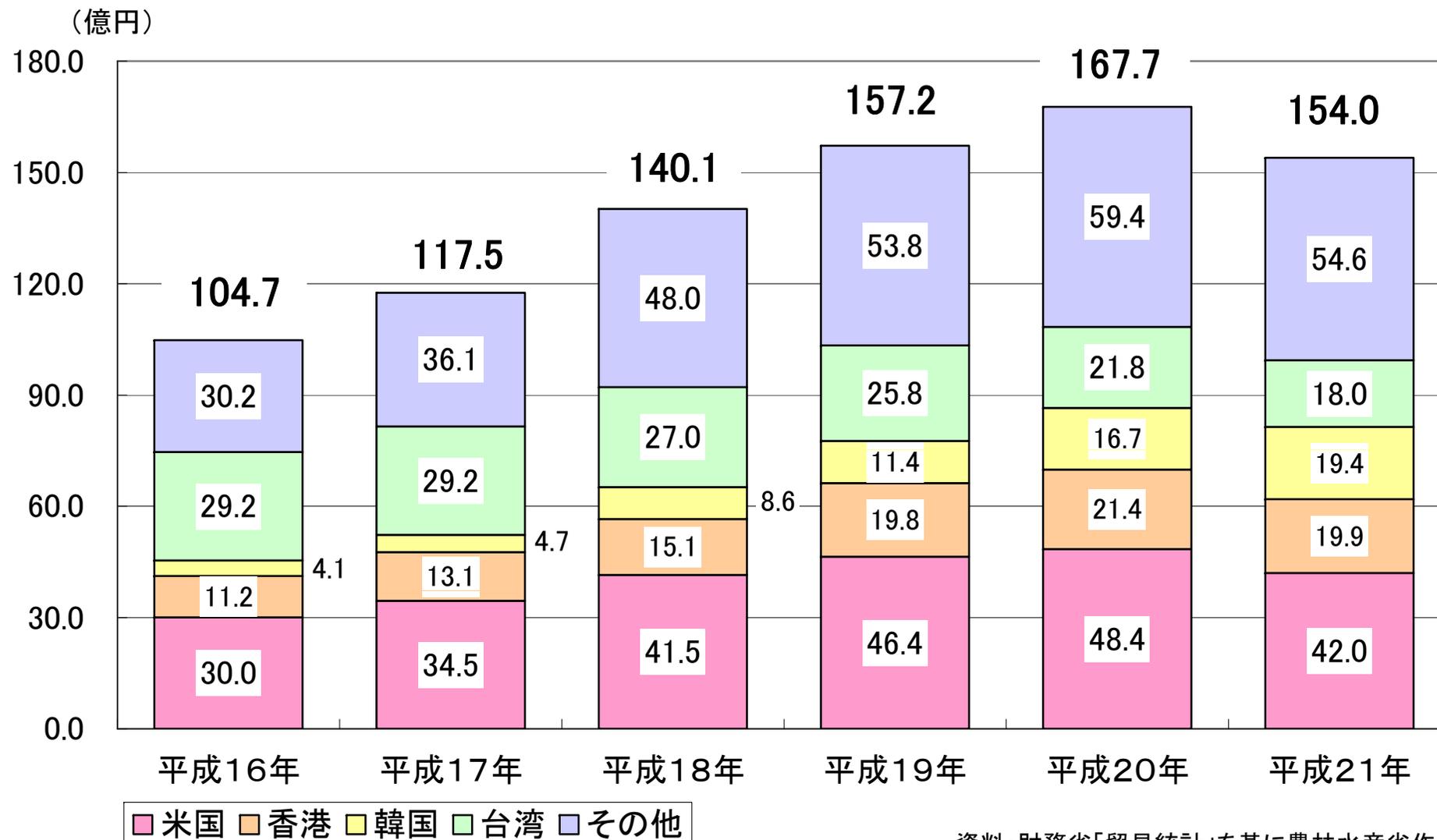




アルコール飲料の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

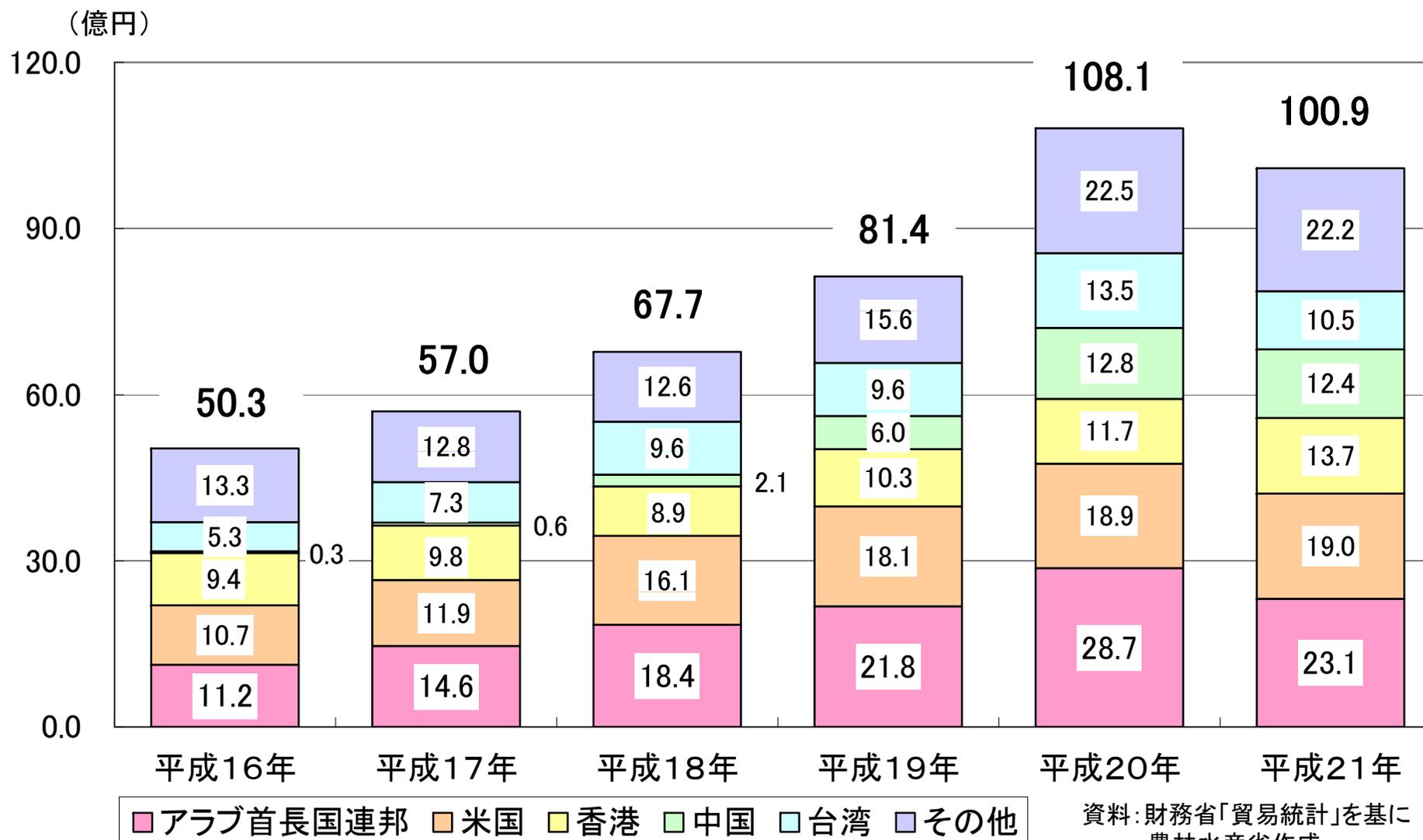
- アルコール飲料の輸出額は近年、傾向的に増加。
- 内訳をみると、清酒(72億円)が最も多く、次いでビール(27億円)、焼酎(14億円)が多い。





清涼飲料水の輸出額・輸出先国の推移

- 清涼飲料水の輸出額は近年、傾向的に増加。
- 近年は特に中国向けの輸出額が増加。平成21年(12.4億円)は平成16年(0.3億円)の約40倍。

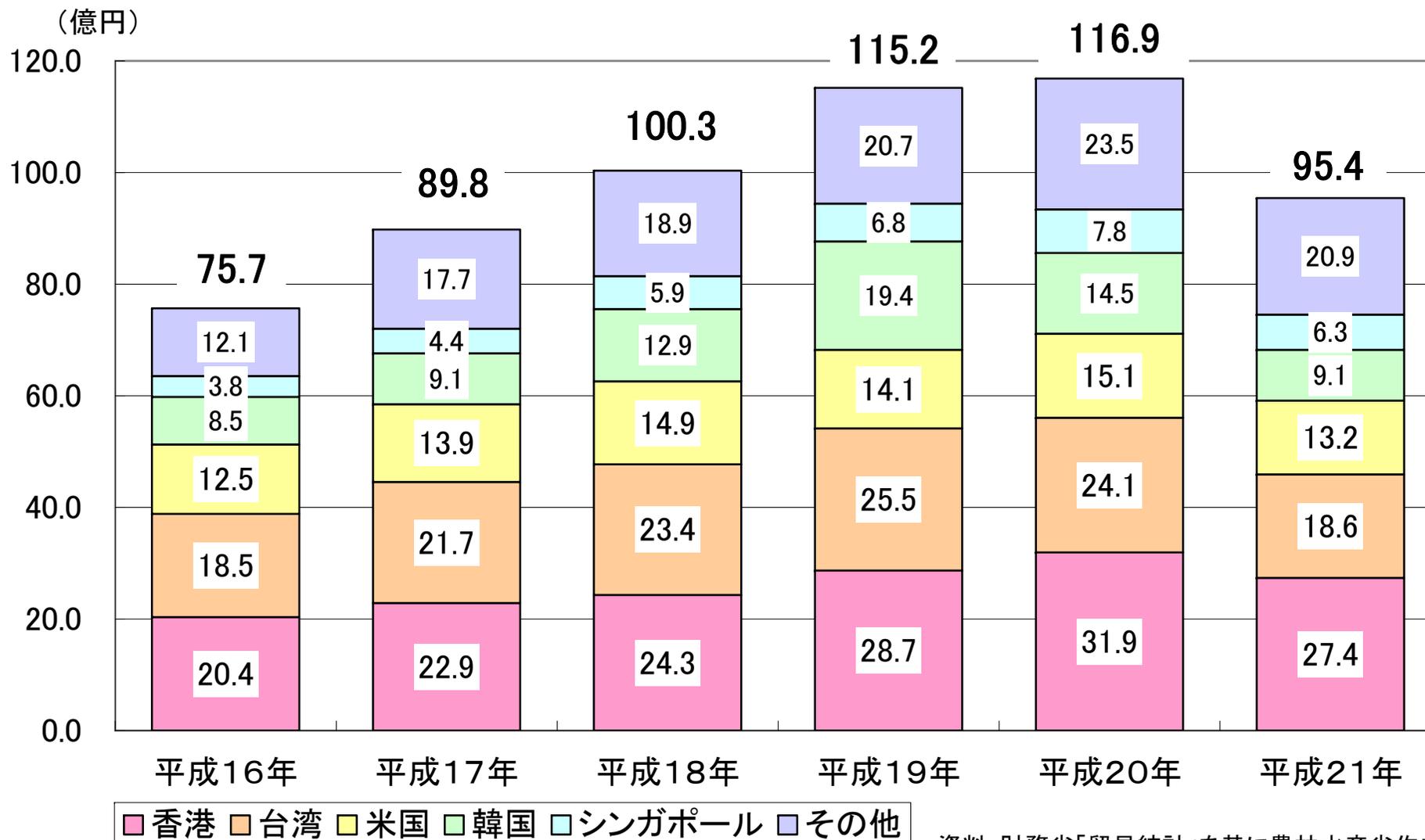




菓子(米菓除く)の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

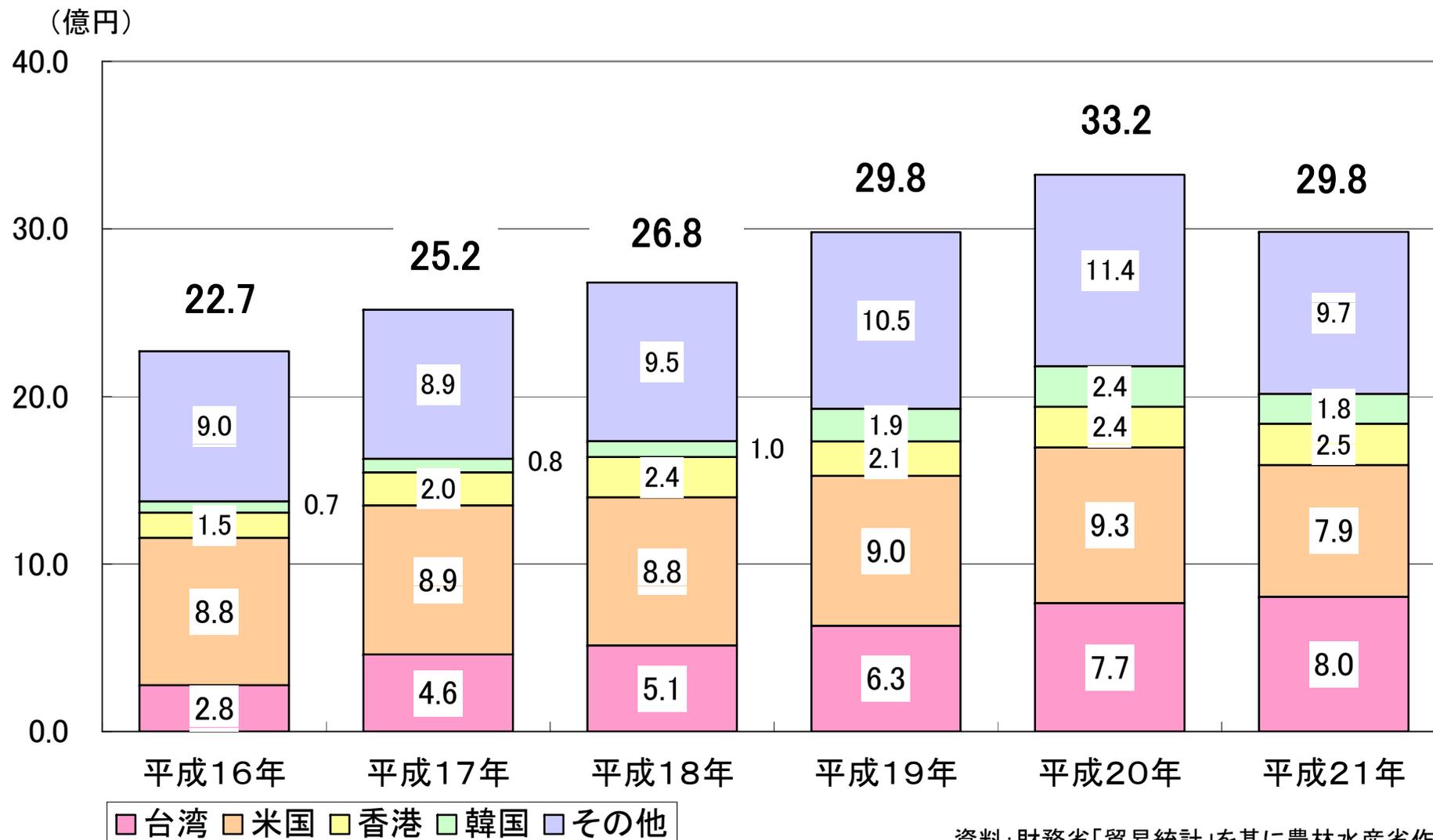
● 日本産菓子は、種類が豊富であることから、海外においても多くの国で楽しまれており、我が国の輸出主力製品のひとつとなっている。





米菓の輸出額・輸出先国の推移

●米菓の輸出は近年、傾向的に増加。特に台湾向けや香港向けの輸出が堅調。





畜産品の品目別内訳

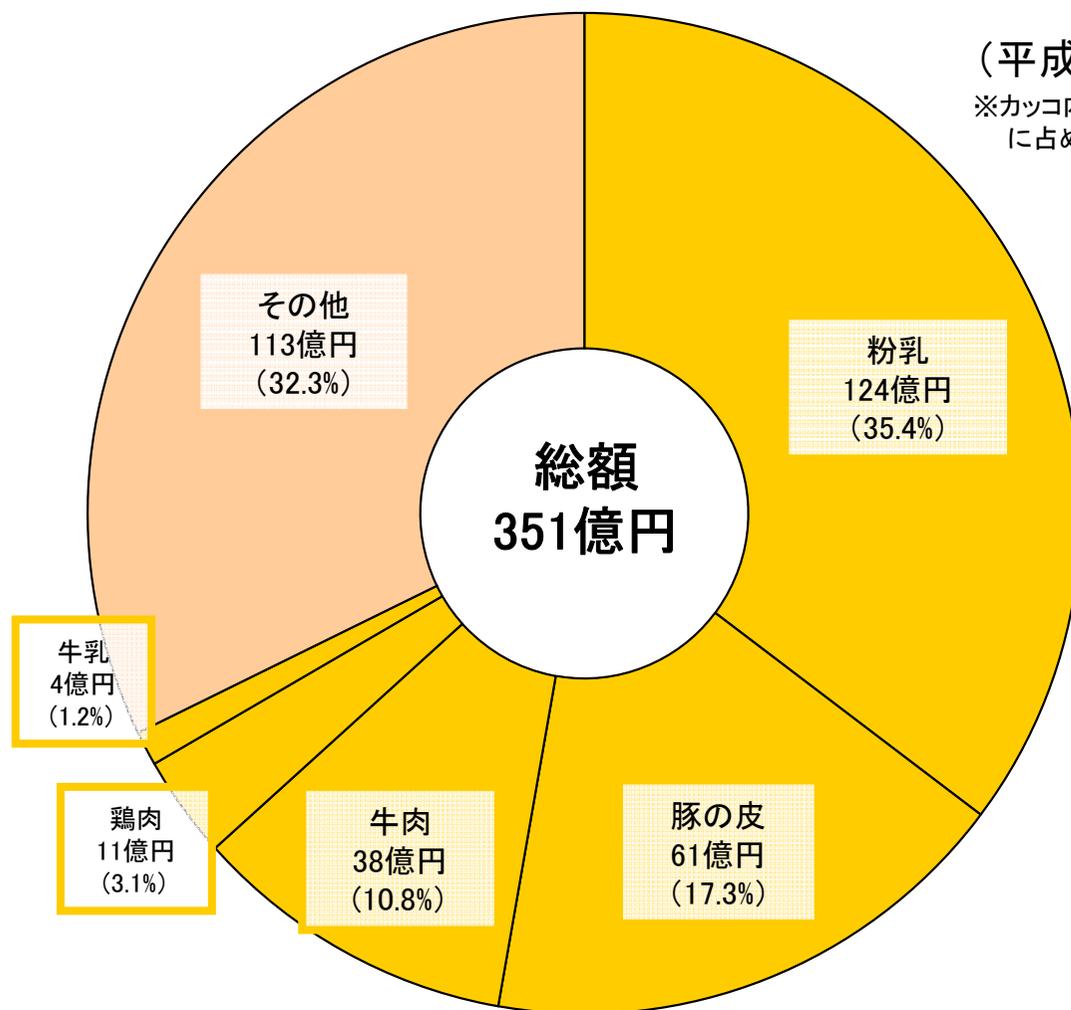
MAFF

●畜産品の品目別内訳をみると、粉乳、豚の皮、牛肉などの割合が多い。

(単位:億円)

(平成21年)

※カッコ内は輸出額に占める割合



品目名	平成20年	平成21年	対前年比
粉乳	48.1	124.2	158.0%
豚の皮	106.7	60.7	▲43.0%
牛肉	40.5	37.7	▲6.9%
ゼラチン	23.4	20.3	▲13.2%
牛・馬の皮	16.9	18.8	11.5%
鶏肉	9.9	10.9	10.0%
ラノリン	13.3	10.8	▲18.5%
牛乳	1.5	4.1	165.8%
チーズ	3.4	3.5	1.3%
豚肉	3.4	3.7	8.9%
鶏卵	2.3	2.8	23.9%
その他	72.1	53.2	▲26.2%
畜産品計	341.6	350.8	2.7%

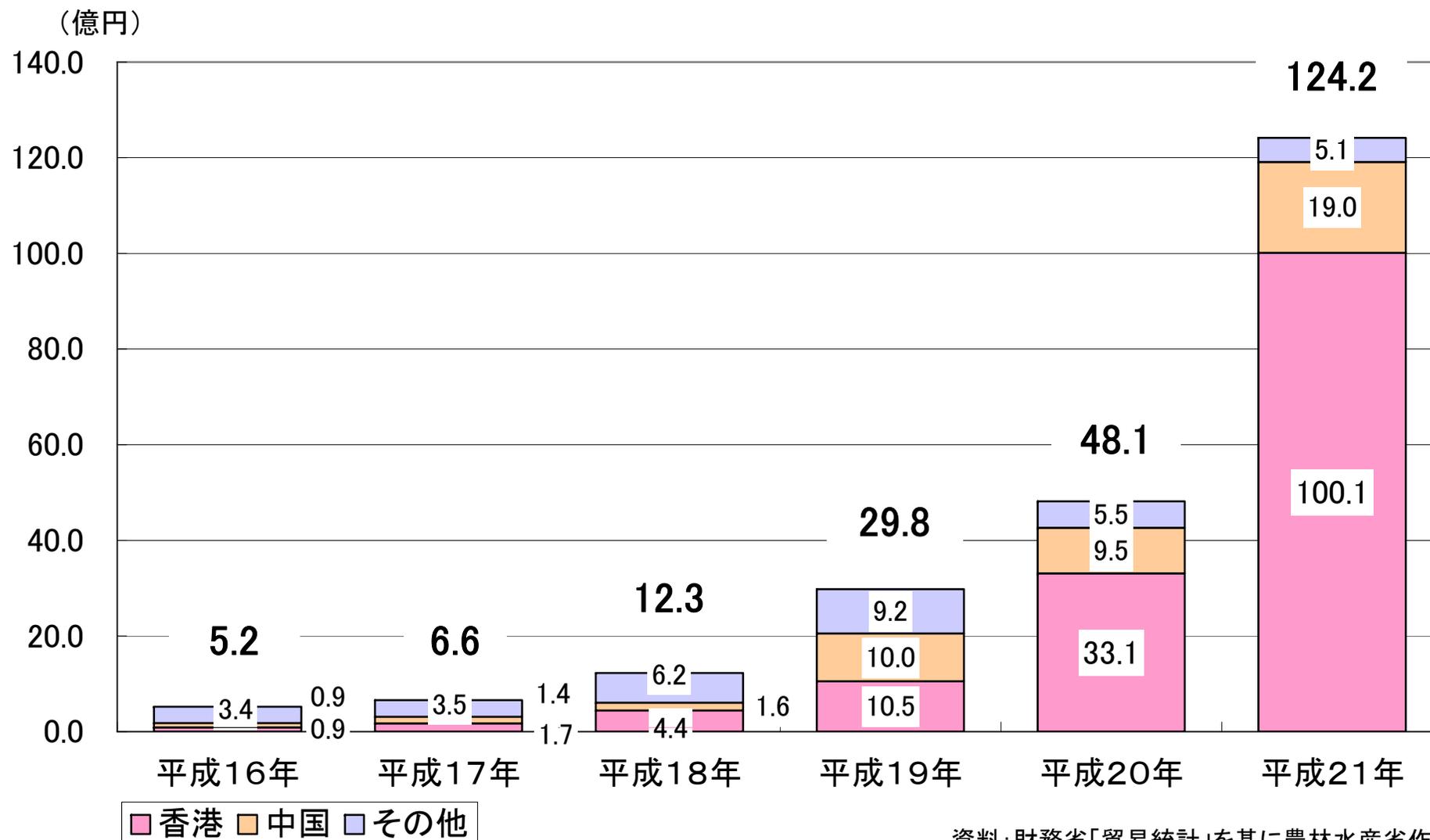
※ゼラチン・・・牛や豚の皮や骨から抽出されるたんぱく質。ゼリー等に使用
※ラノリン・・・羊毛製品の副産物として生産される油脂。化粧品等に使用



粉乳の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

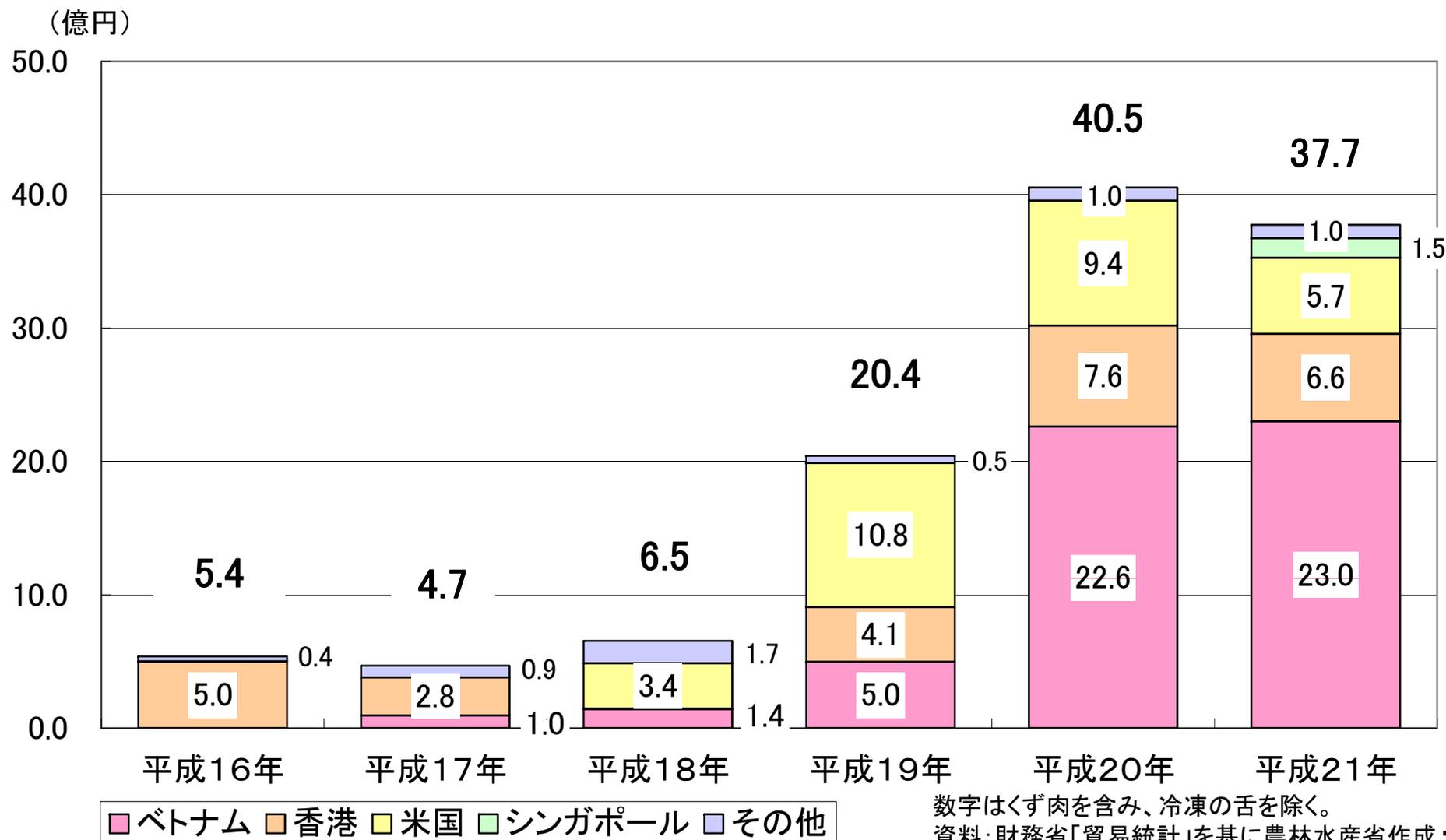
●中国におけるメラミン事件を背景に、日本産粉乳に対する需要が増加し、輸出額が急増。





牛肉の輸出額・輸出先国の推移

●我が国におけるBSEの発生以降、多くの国で輸入が禁止されているが、政府間の検疫協議の結果、米国（平成17年12月）、香港（平成19年4月）、シンガポール（平成20年5月）等への輸出が解禁され、輸出額が増加。



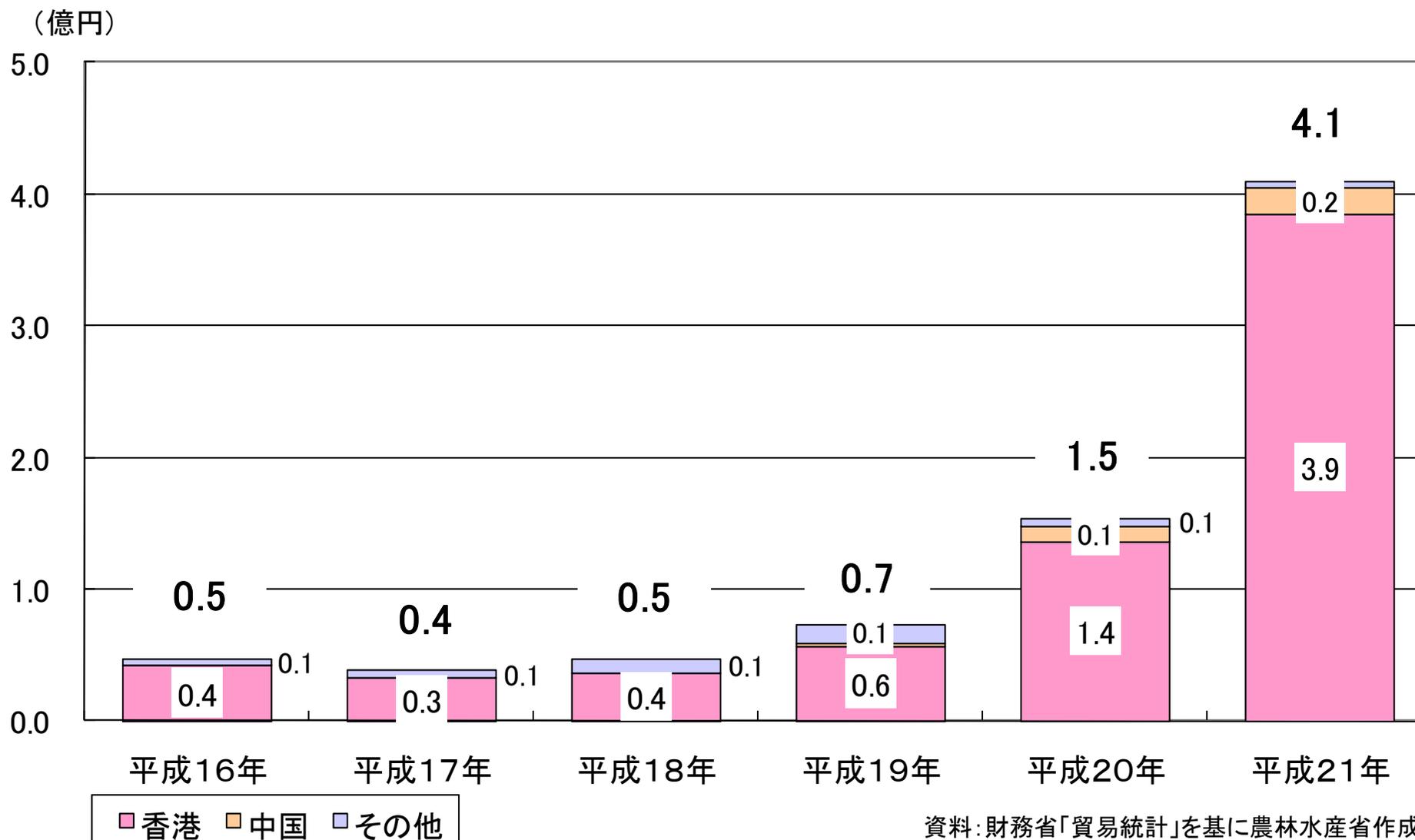
数字はくず肉を含み、冷凍の舌を除く。

資料：財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



牛乳の輸出額・輸出先国の推移

●中国におけるメラミン事件を背景に、日本産牛乳に対する需要が増加し、輸出額が急増。



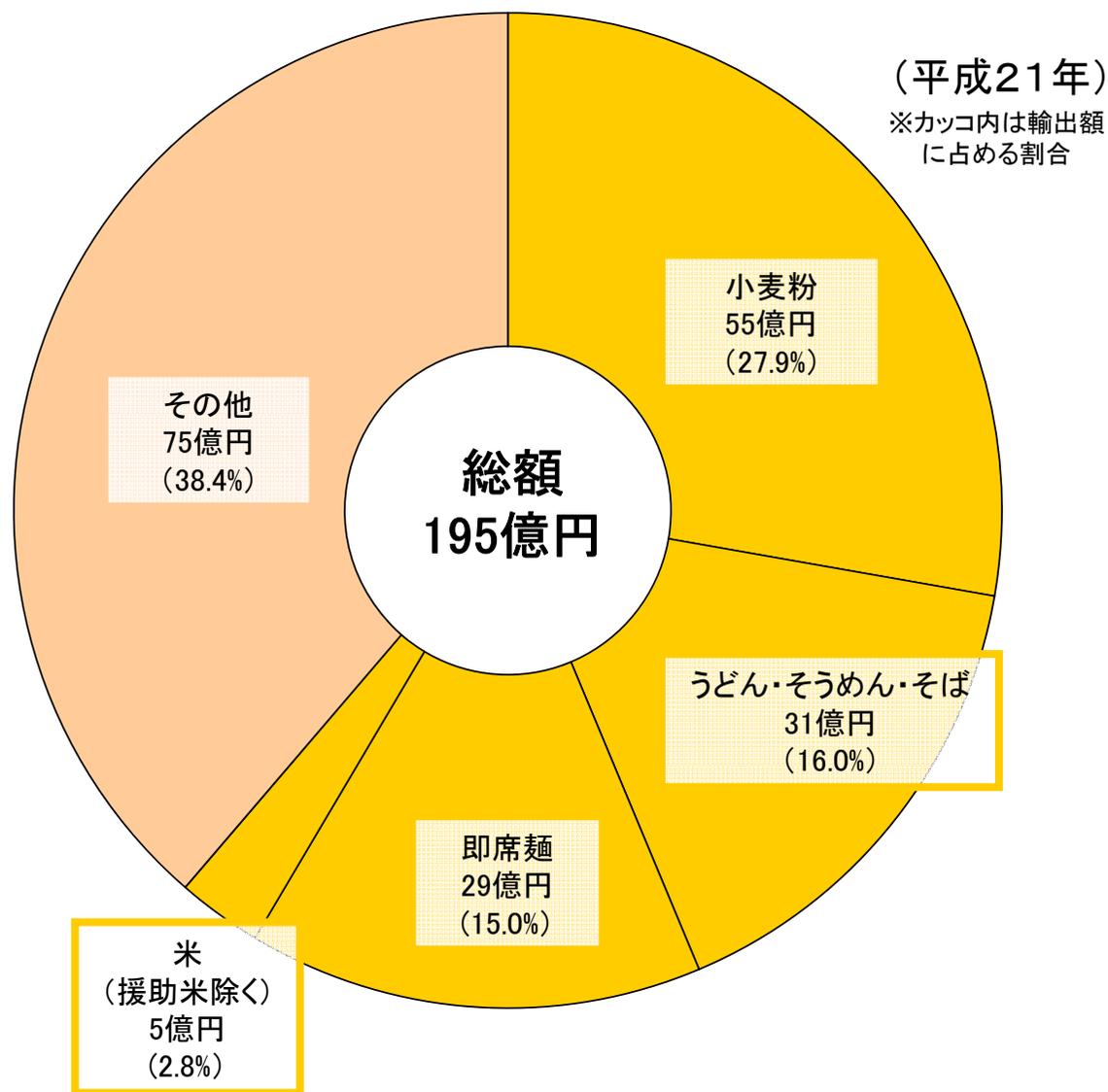


穀粉等の品目別内訳

MAFF

●穀粉等の品目別内訳をみると、小麦粉、うどん・そうめん・そば、即席麺などの割合が多い。

(単位:億円)



品目名	平成20年	平成21年	対前年比
小麦粉	83.3	54.5	▲34.6%
うどん・そうめん・そば	32.3	31.2	▲3.2%
即席麺	35.1	29.2	▲16.8%
米	20.4	13.2	▲35.5%
米(援助米除く)	6.4	5.4	▲15.0%
その他	73.7	67.1	▲8.9%
穀粉等計	244.7	195.2	▲20.2%

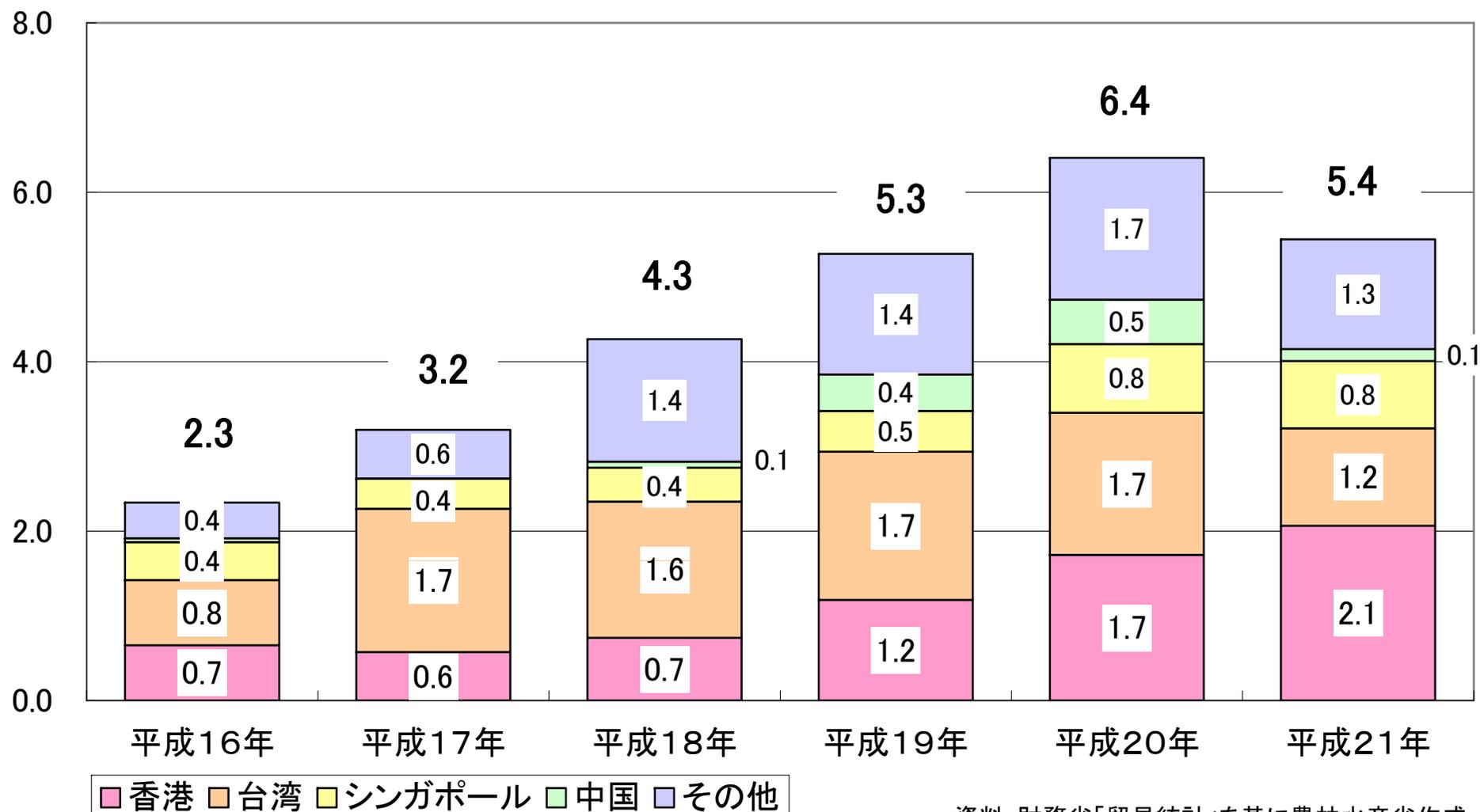
※小麦粉・・・用途は製菓用など



米(援助米除く)の輸出額・輸出先国の推移

- 援助米を除く、商業ベースの米の輸出額は近年、傾向的に増加。
- 平成21年は数量ベースでは微増で推移(平成20年1,294トン→平成21年1,312トン)したものの、現地における価格競争等により輸出額は減少。

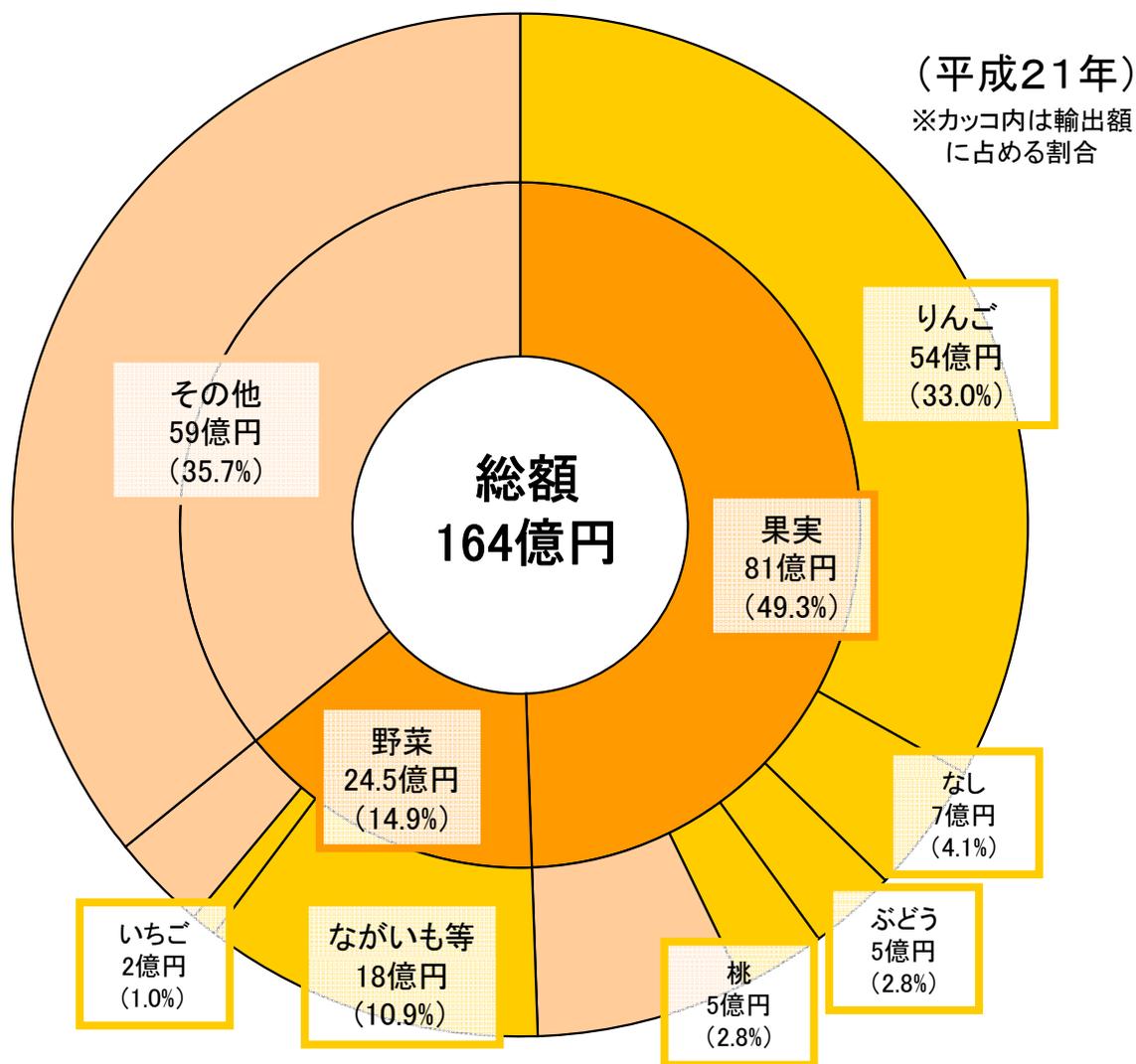
(億円)





果実・野菜等の品目別内訳

●果実・野菜等の品目別内訳をみると、りんご、ながいもなどの割合が多い。



(単位:億円)

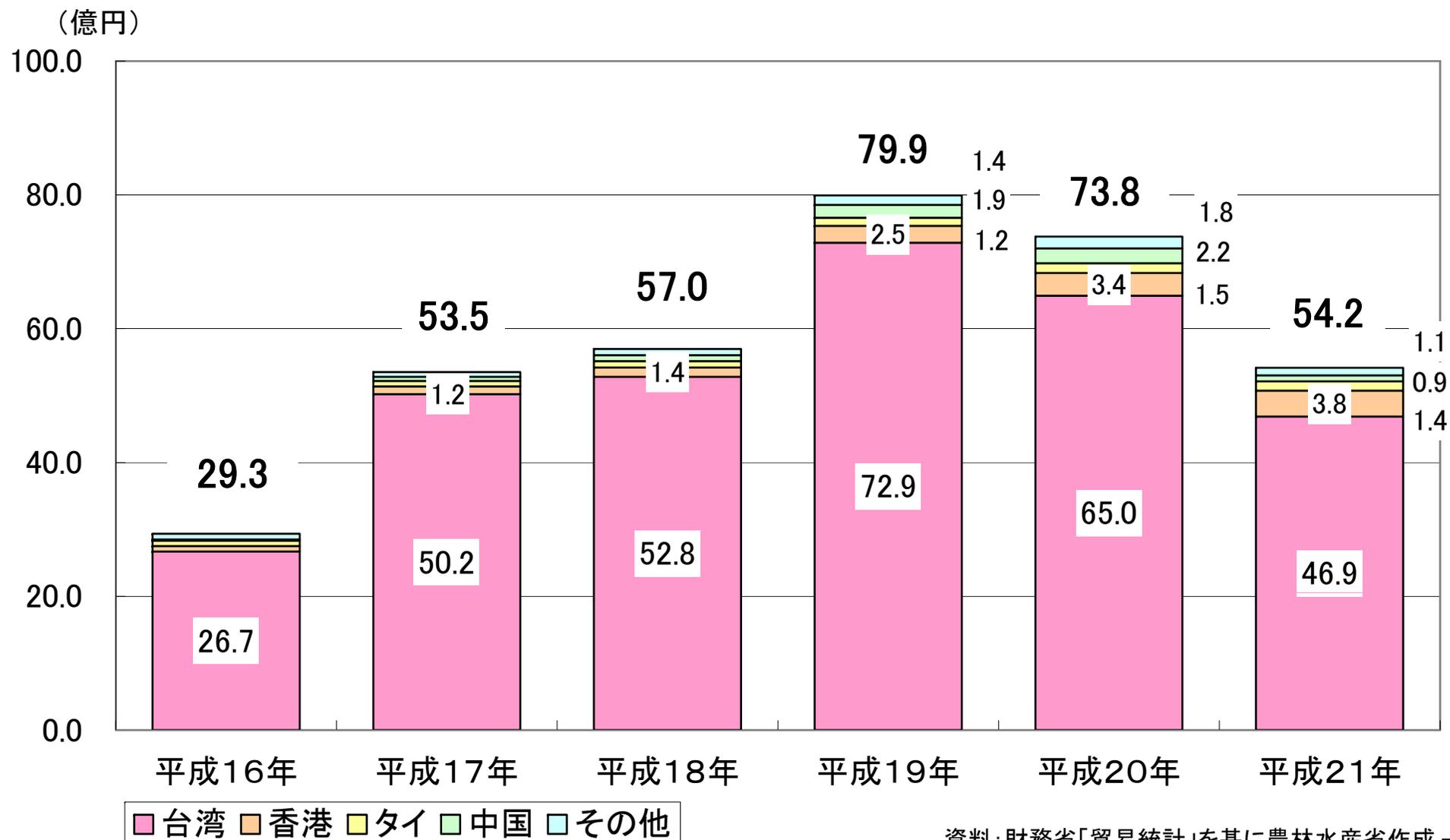
品目名	平成20年	平成21年	対前年比
果実	101.8	81.0	▲20.4%
りんご	73.8	54.2	▲26.6%
なし	6.7	6.8	1.8%
ぶどう	4.5	4.7	3.6%
桃	5.0	4.6	▲7.3%
うんしゅうみかん	4.7	3.6	▲24.5%
柿	1.7	1.6	▲4.9%
野菜	29.4	24.5	▲16.7%
ながいも等	20.8	17.9	▲13.7%
いちご	2.0	1.6	▲20.6%
かんしょ	1.1	1.2	6.5%
メロン	1.4	0.9	▲37.0%
だいこん	0.4	0.4	▲3.1%
キャベツ	0.6	0.3	▲49.2%
レタス	0.0	0.1	360.8%
生鮮きのこ	8.7	2.7	▲69.4%
乾しいたけ	2.2	2.0	▲9.7%
その他	62.5	54.0	▲13.6%
果実・野菜等計	204.7	164.2	▲19.8%



りんごの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

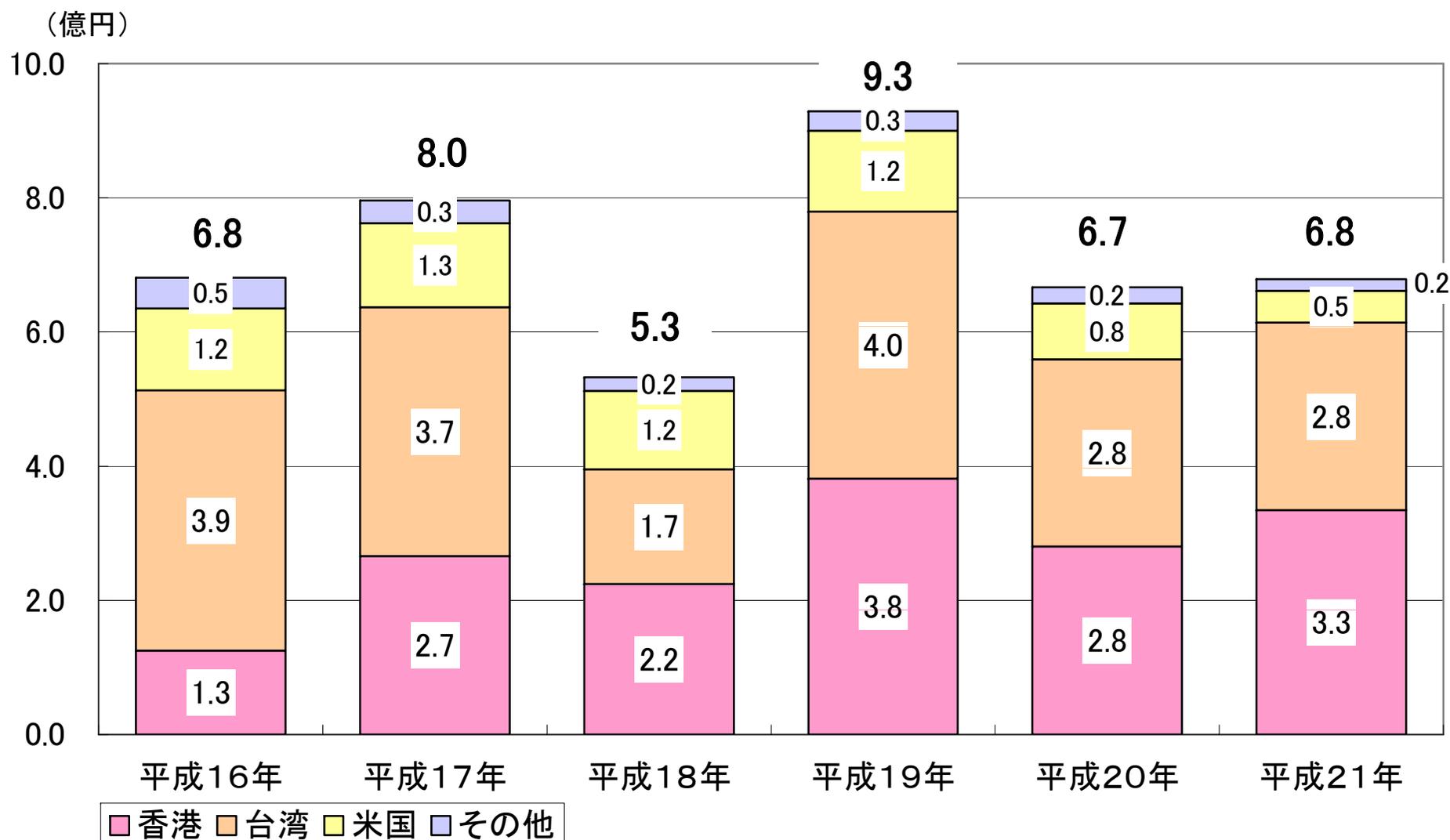
●りんごは果実輸出の主力産品。台湾向けが多いが、近年は輸出額が減少。





なしの輸出額・輸出先国の推移

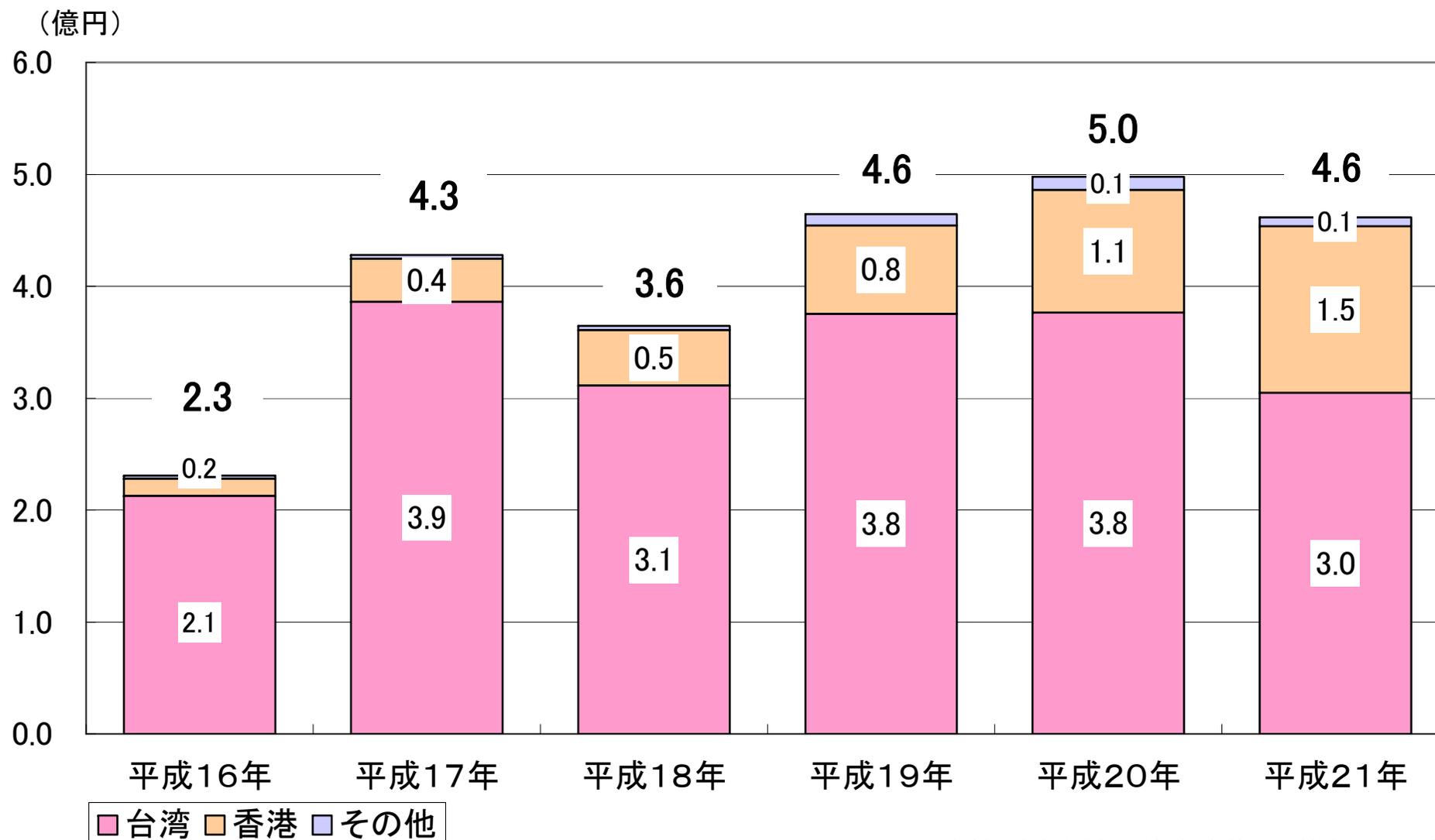
●なしの輸出額は近年、5～10億円の横ばいで推移。





桃の輸出額・輸出先国の推移

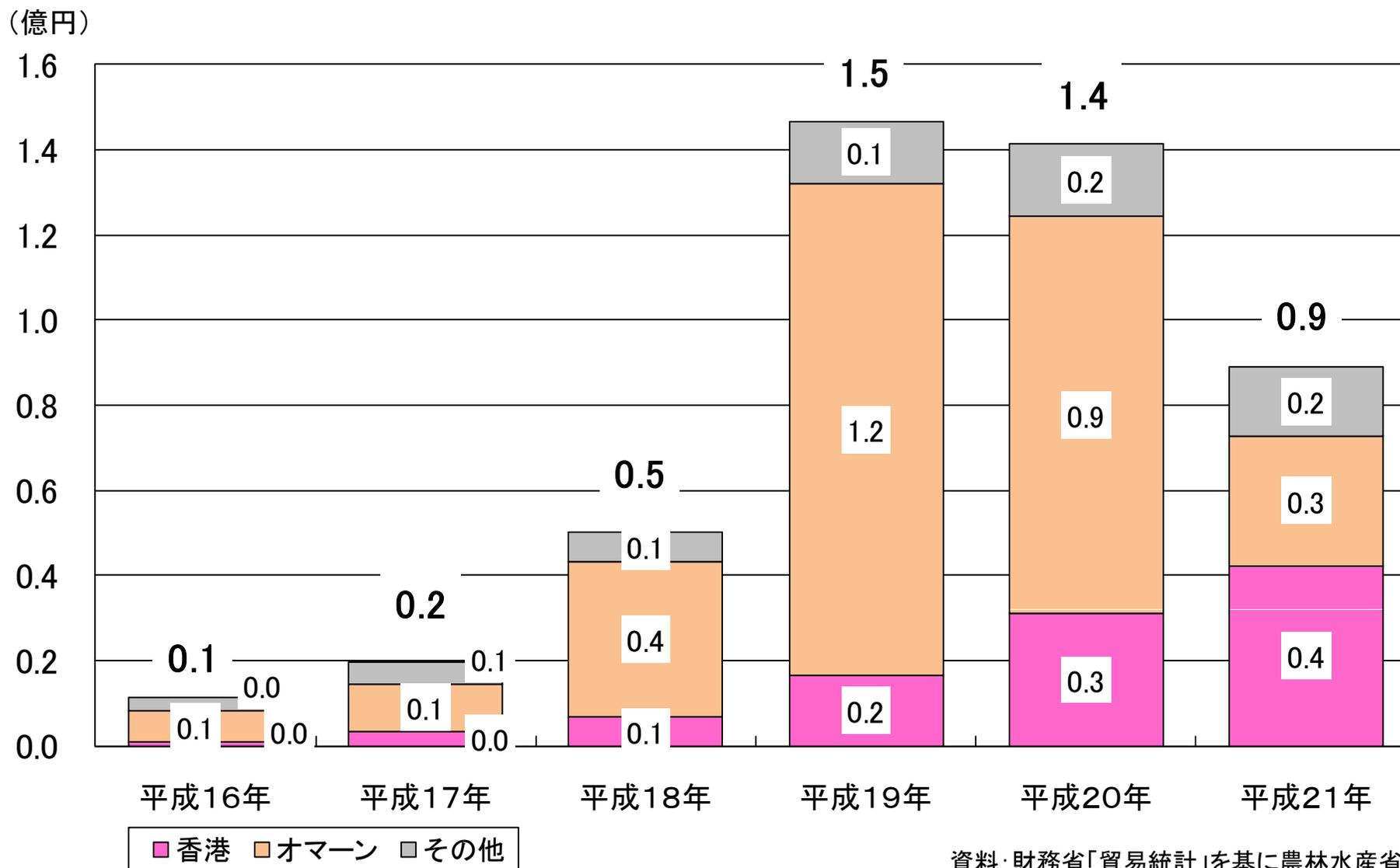
●ももの輸出額は近年、4～5億円程度の横ばいで推移。近年は香港向けの輸出が拡大傾向。





メロンの輸出額・輸出先国の推移

- メロンの輸出額は近年、大きく増加。平成16年(約0.1億円)→平成21年(約0.9億円)で約9倍に。
- 輸出先国1位は香港。第2位のオマーンでは「食べるダイヤモンド」と称され、富裕層を中心に人気。

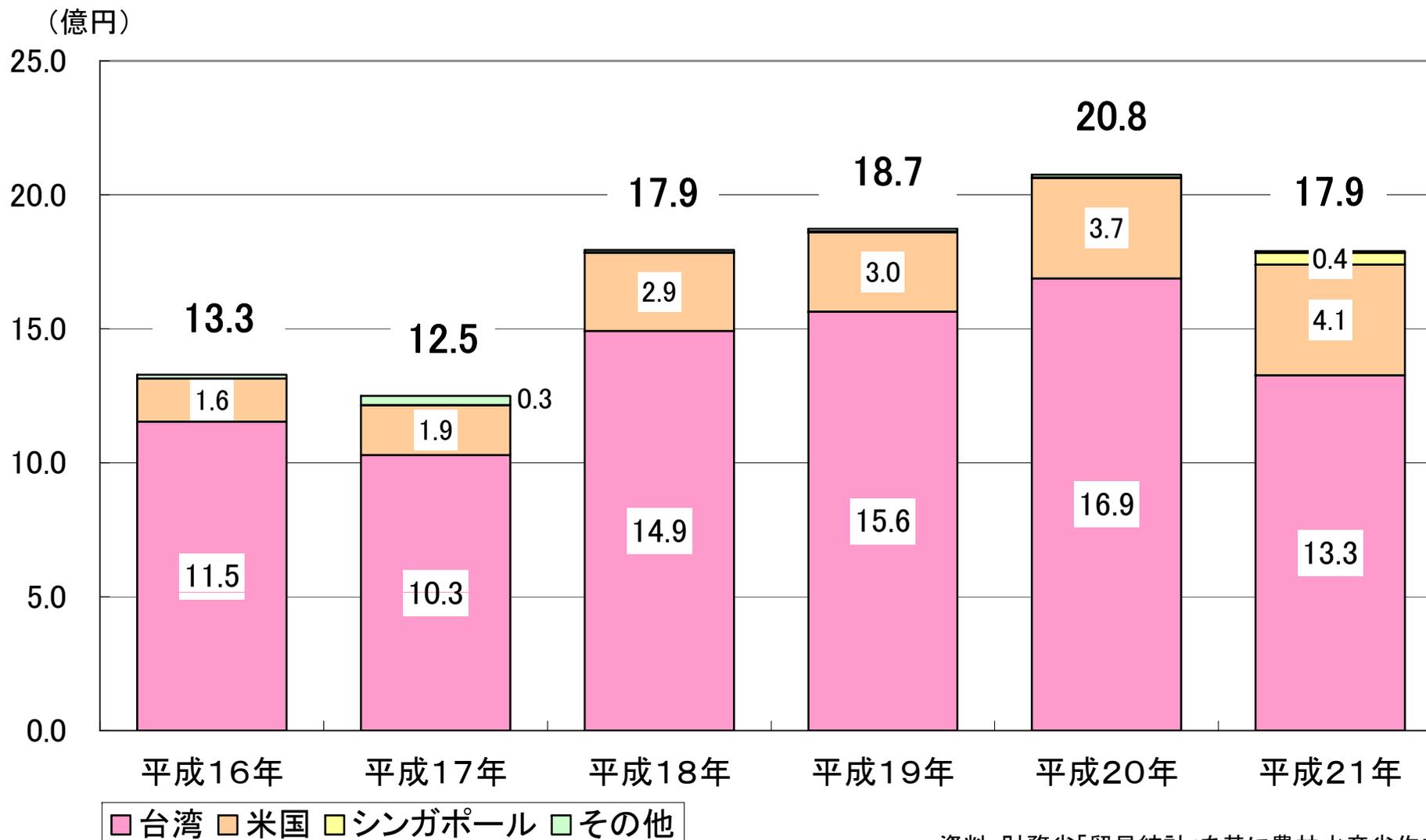




ながいも等の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

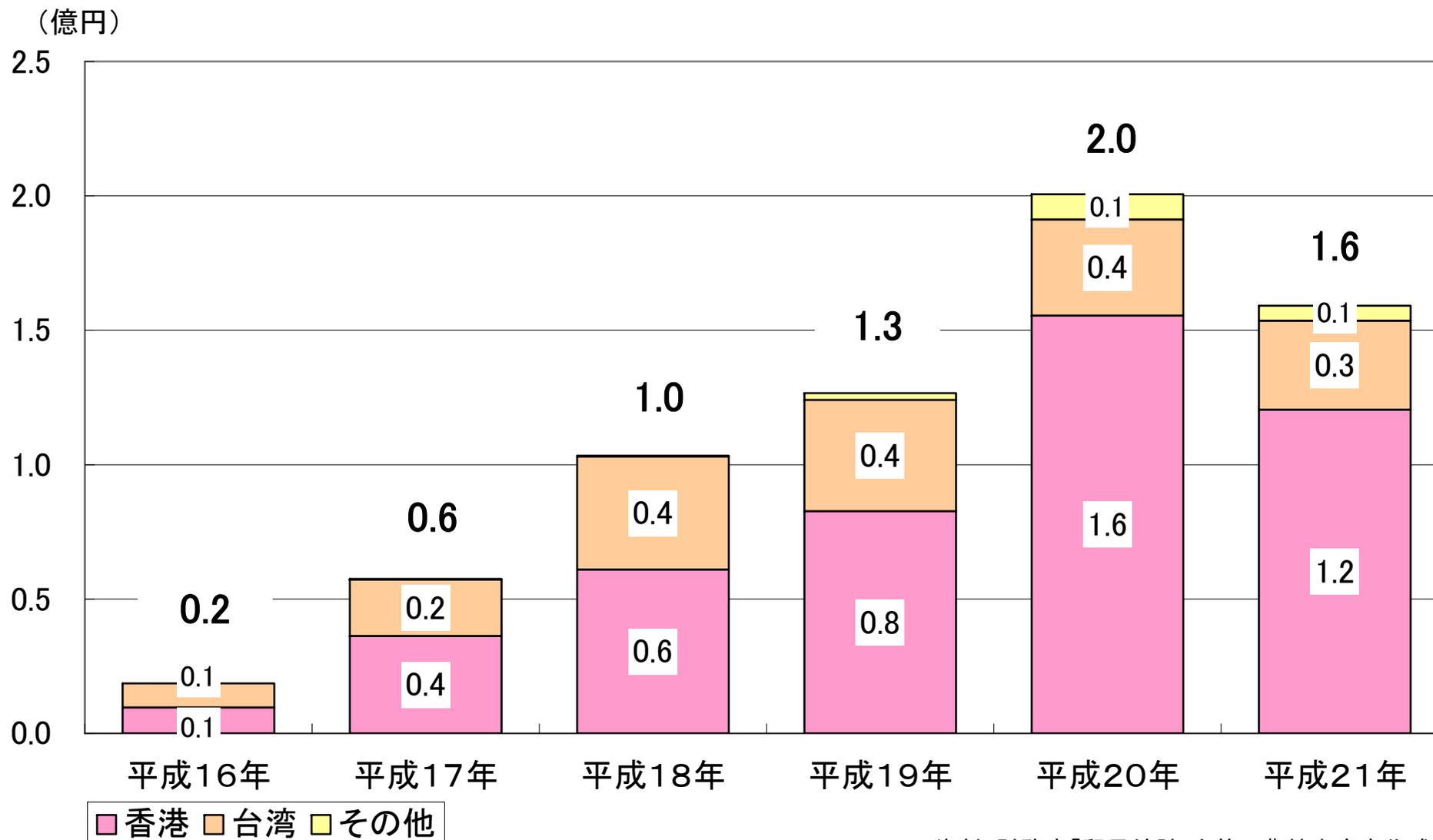
●ながいも等は野菜輸出の主力産品。輸出先は台湾が多いが、近年、シンガポール向けの試験輸出が開始。





いちごの輸出額・輸出先国の推移

●いちごの輸出は近年、香港、台湾向けを中心に傾向的に増加。

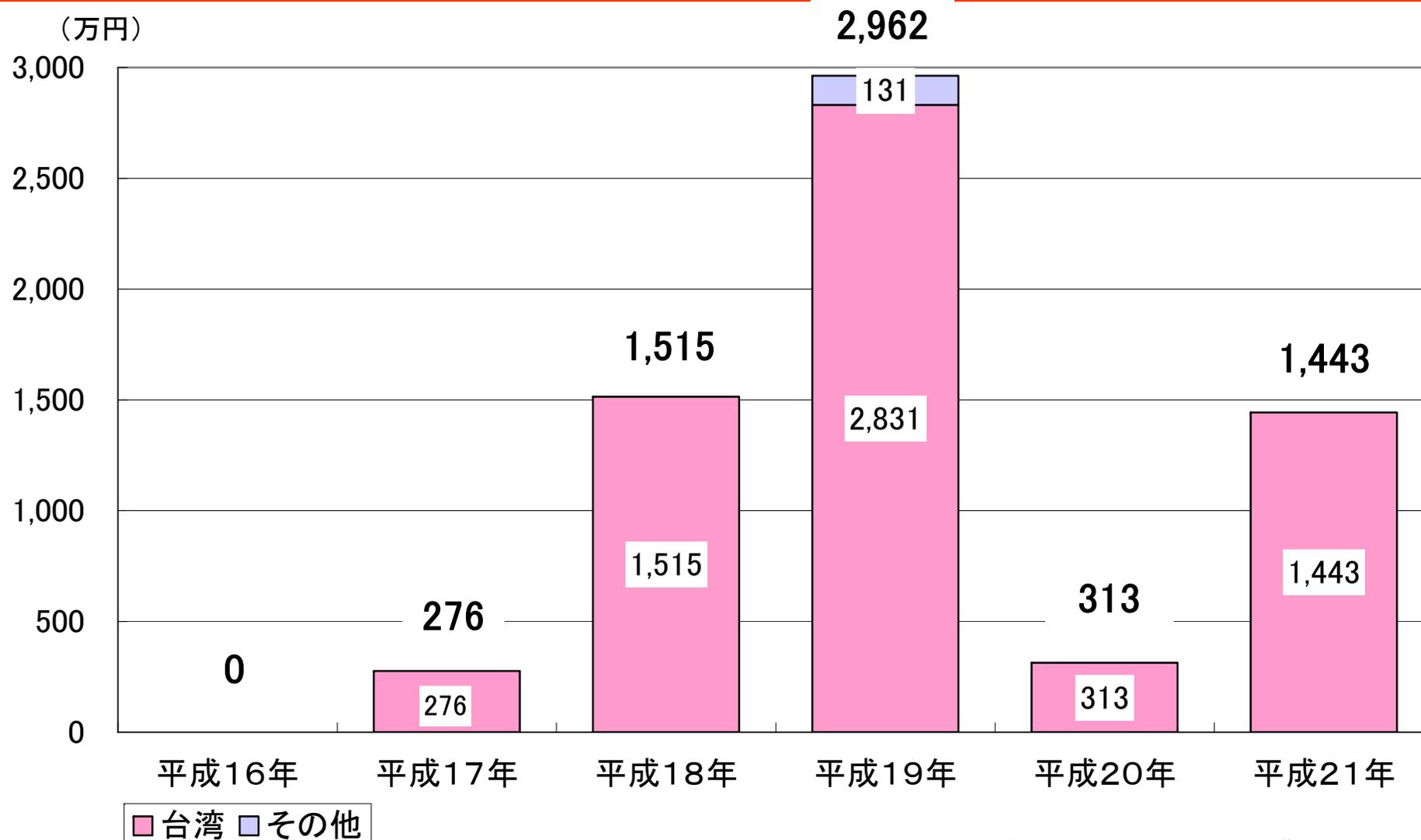




レタスの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●レタスの輸出は試験段階。劣化しやすい葉物野菜であるが、試験輸出等の努力により、輸出が定着しつつある。

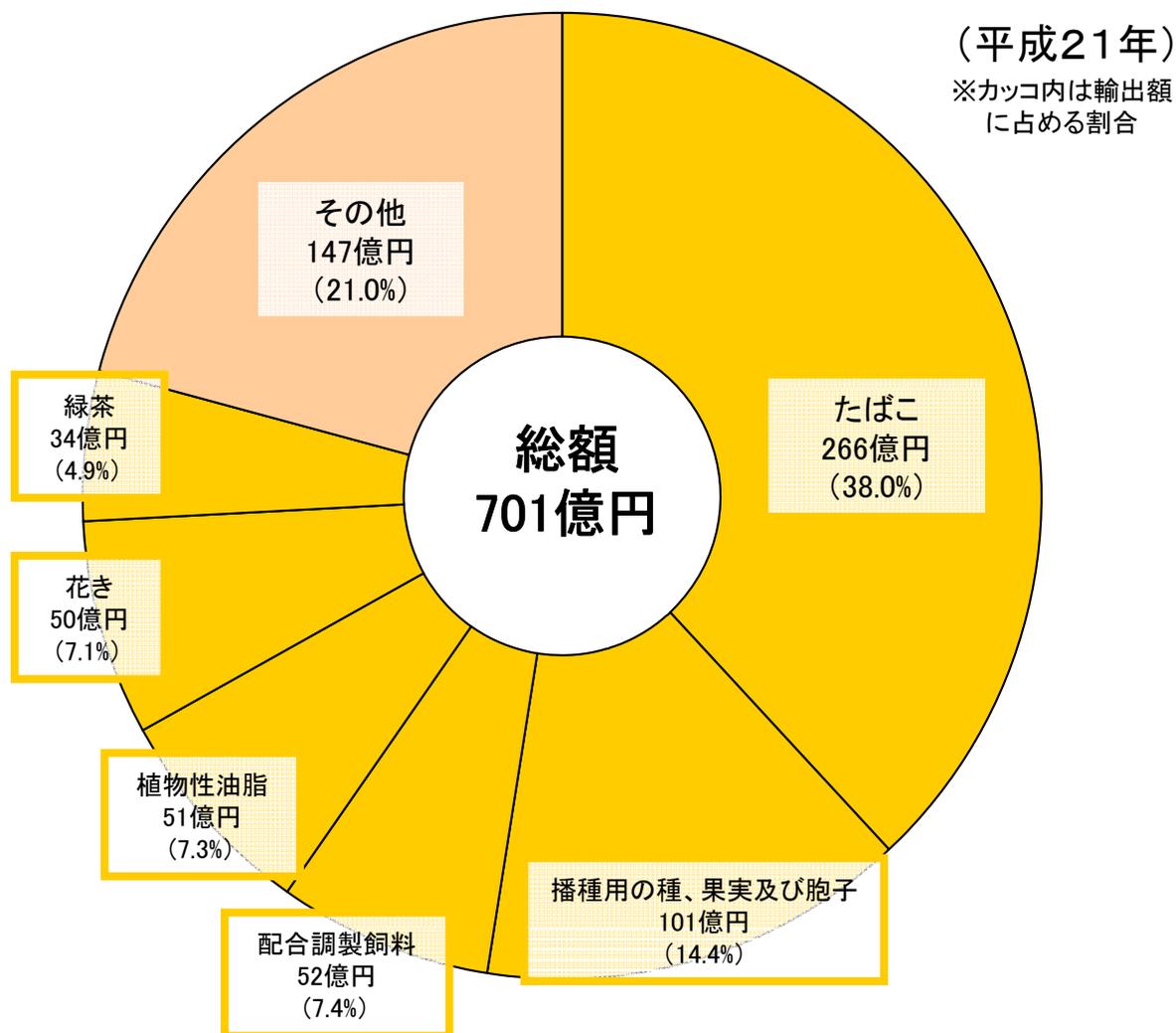




その他農産物の品目別内訳

●その他の農産物では、たばこ、播種用の種、配合調製飼料などが多い。

(単位:億円)



品目名	平成20年	平成21年	対前年比
たばこ	278.3	266.4	▲4.3%
播種用の種、果実及び孢子	108.2	101.1	▲6.6%
配合調製飼料	65.5	52.1	▲20.4%
植物性油脂	54.7	51.0	▲6.8%
ごま油	30.8	29.0	▲5.7%
花き	58.6	49.8	▲15.0%
苗木類	4.8	3.7	▲22.4%
植木等	52.4	44.7	▲14.7%
切花	0.9	1.1	25.1%
緑茶	33.4	34.2	2.3%
インスタントコーヒー	47.0	28.9	▲38.4%
植物の液汁エキス	29.4	28.3	▲3.7%
茶のエキス	12.2	14.2	17.0%
メントール	19.9	10.4	▲47.7%
その他	76.5	65.3	▲14.7%
その他農産物計	783.6	701.8	▲10.4%

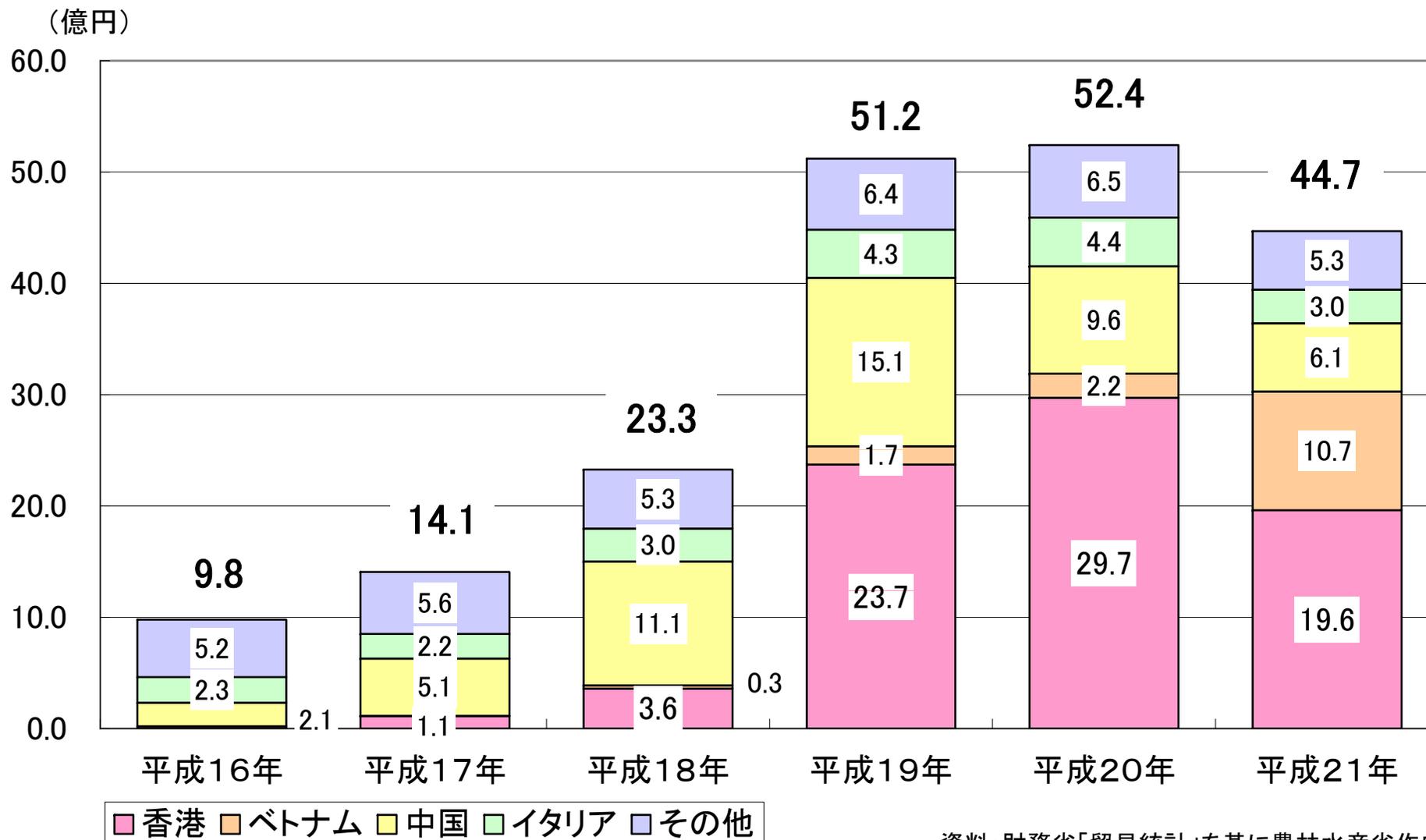
※植物の液汁エキス…用途は健康食品や化粧品など。
※メントール…ハッカから抽出される成分。医薬品などに使用。



植木等の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

● 植木等(植木類、盆栽類、鉢物類)の輸出は、中国における植木ブームにより、香港・中国向けの植木類の輸出が増加。また、ヨーロッパ向けには盆栽類が輸出されており、錦鯉とともに日本文化の象徴として楽しまれているところ。

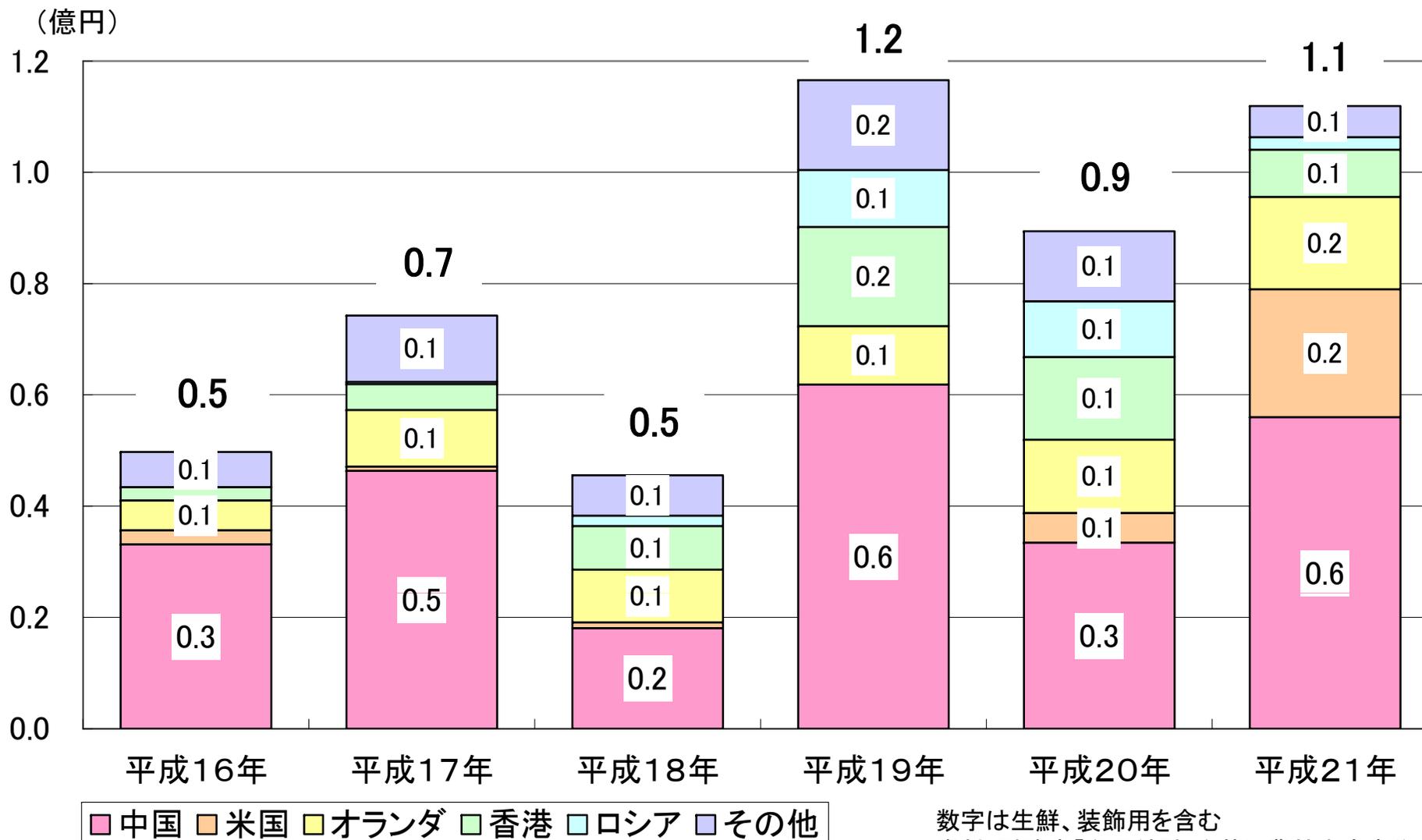




切花の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●切花の輸出額は傾向的に増加。近年は米国向けの輸出が好調。



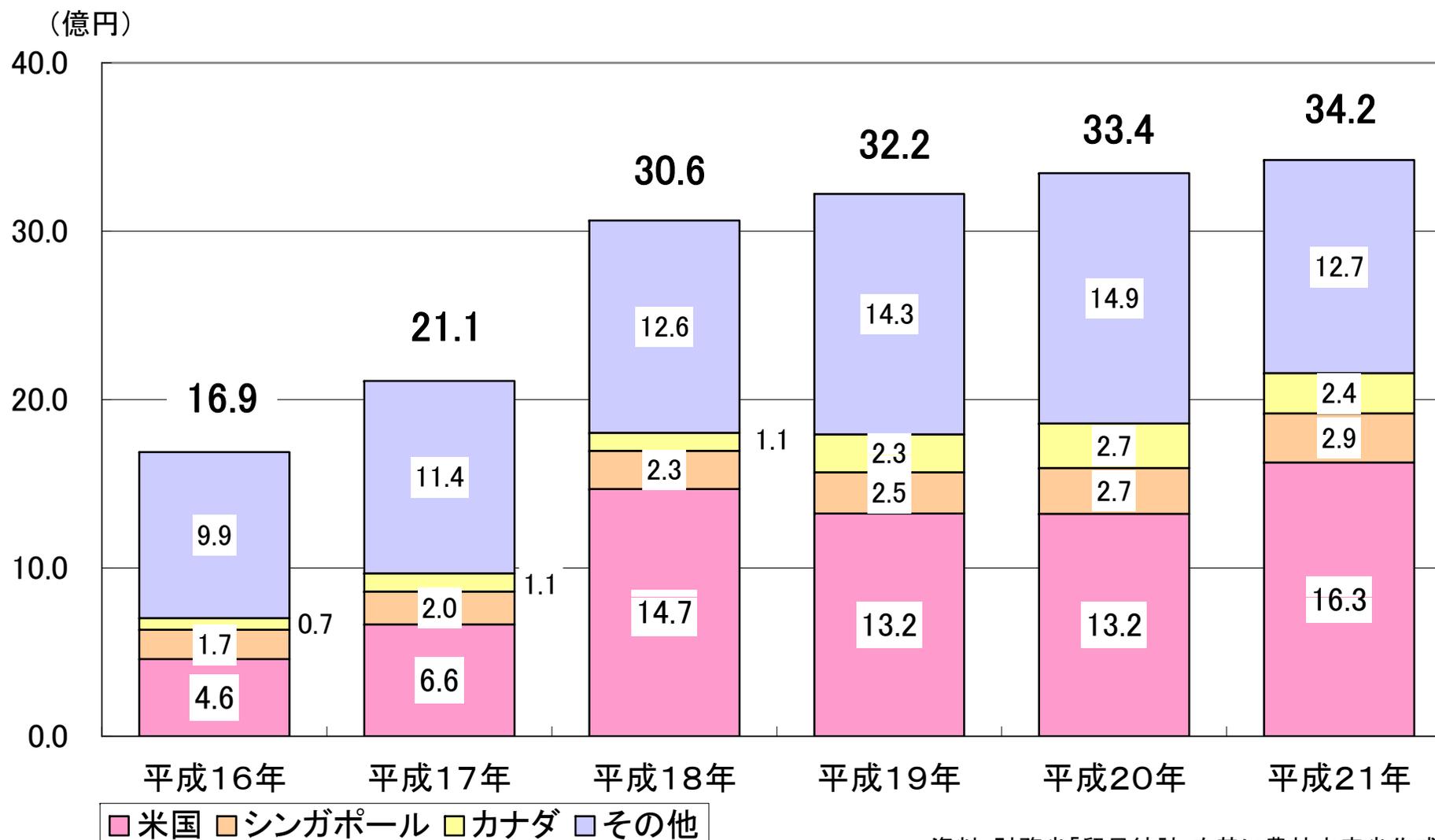
数字は生鮮、装飾用を含む

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -26-



緑茶の輸出額・輸出先国の推移

●緑茶の輸出は近年、順調に増加。輸出先では米国が大きく、店頭販売用の緑茶の需要が好調。

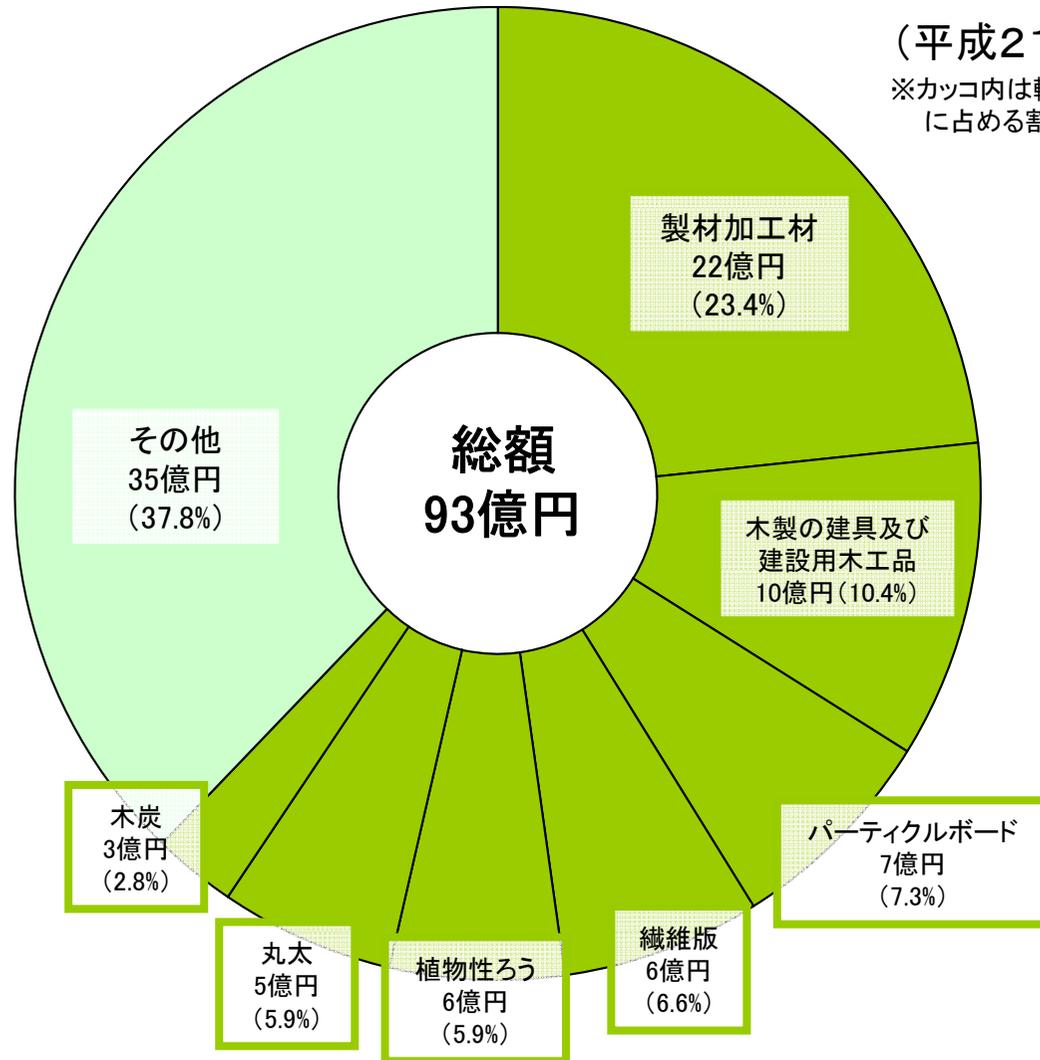




林産物の品目別内訳

●林産物の品目別内訳をみると、製材加工材や木製の建具などの割合が多い。

(単位:億円)



品目名	平成20年	平成21年	対前年比
製材加工材	27.2	21.8	▲19.8%
木製の建具及び建設用木工品	14.7	9.7	▲34.0%
パーティクルボード	8.2	6.8	▲17.6%
繊維版	5.4	6.1	12.4%
植物性ろう	7.0	5.5	▲20.5%
丸太	7.2	5.5	▲24.3%
木炭	3.5	2.6	▲26.3%
その他	45.2	35.2	▲22.1%
林産物計	118.5	93.2	▲21.3%

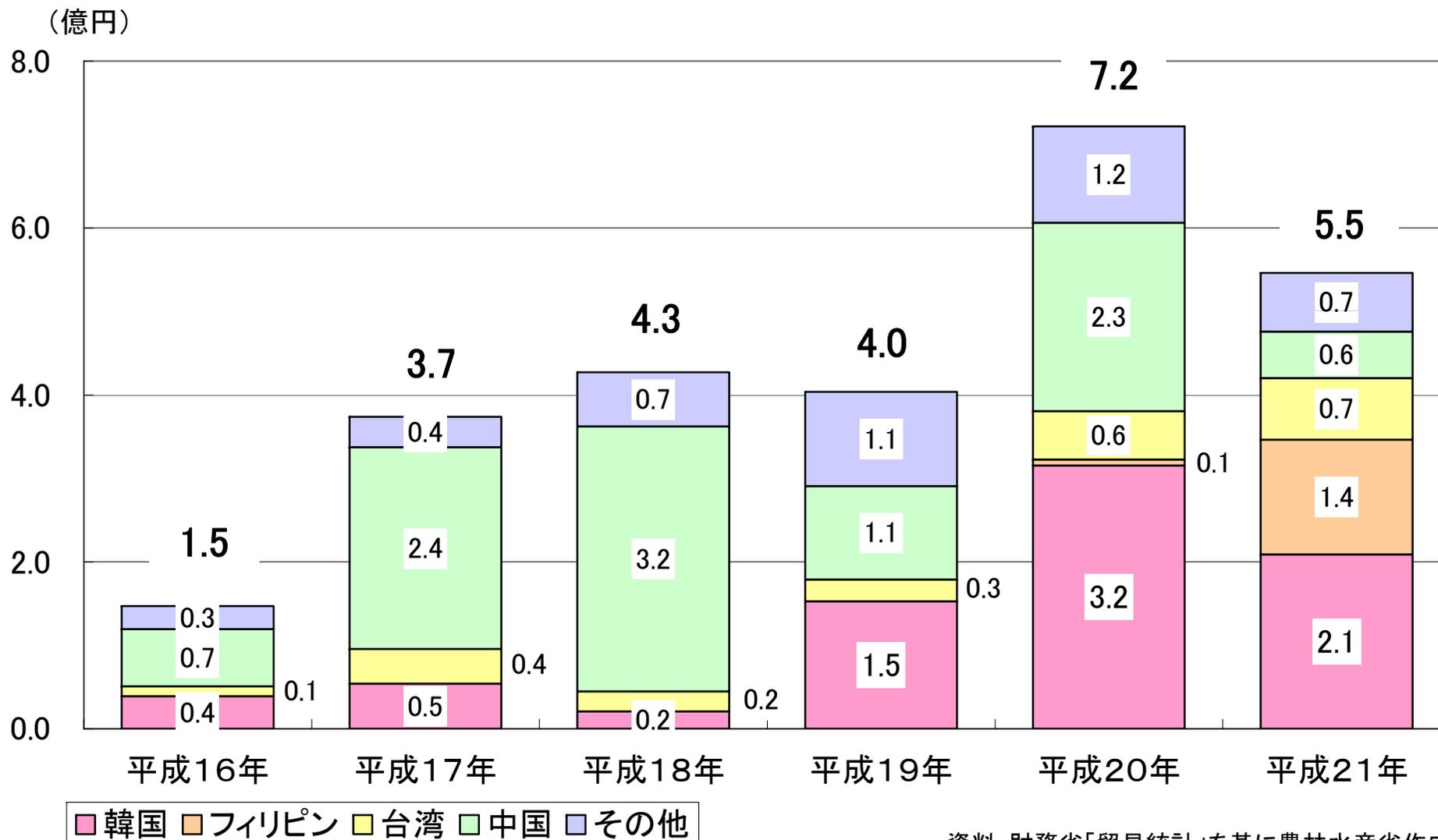
※植物性ろう・・・用途は化粧品など。
※木炭・・・用途はお香など。



丸太の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 丸太の輸出は近年、増加の傾向。
- 平成21年は、平成20年と比べフィリピン向けが大幅に増加したものの、韓国、中国向けの輸出が減少。

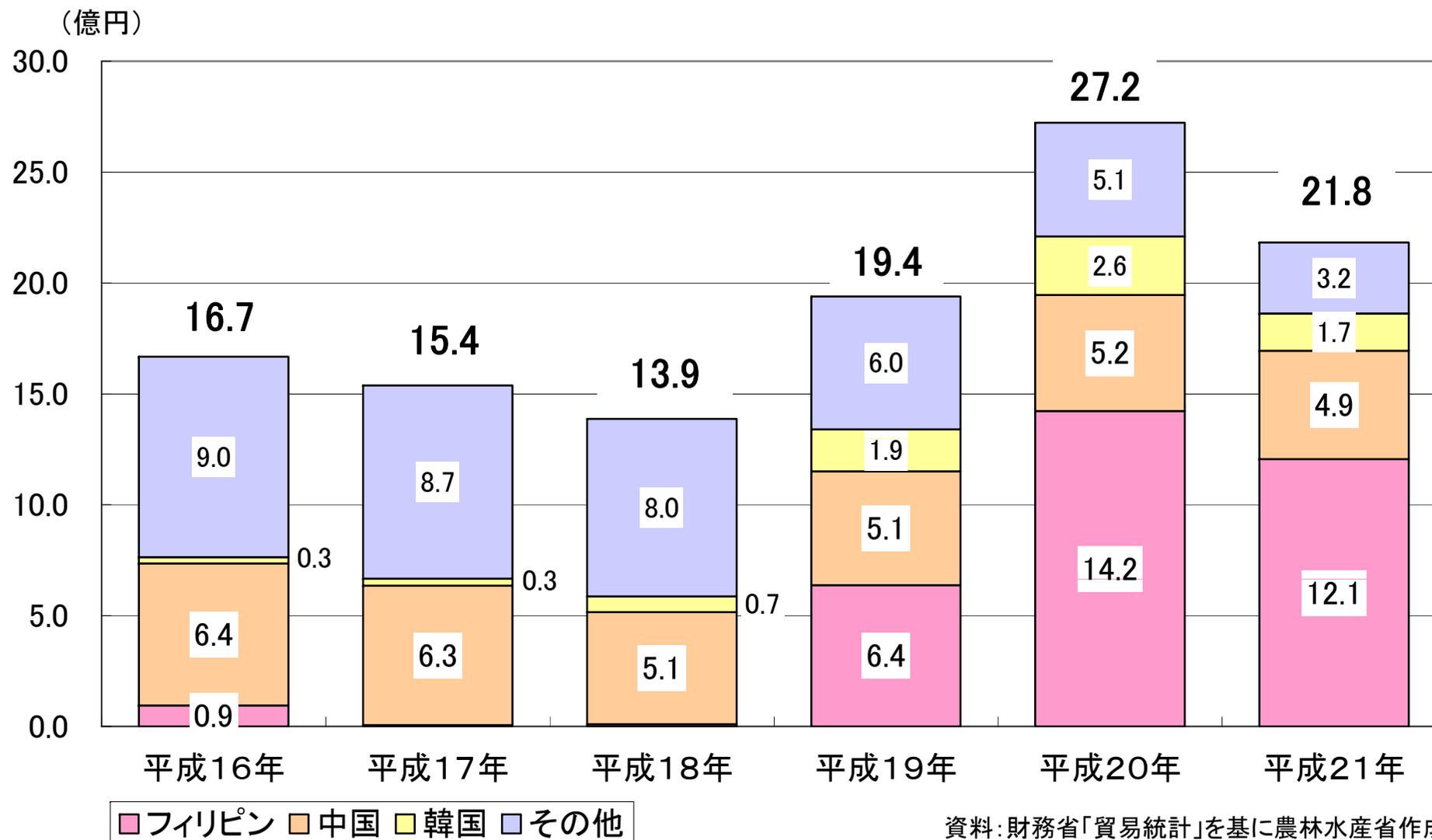




製材加工材の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 製材加工材の輸出は近年、増加の傾向。特に平成19年からはフィリピン向けの輸出が大きく増加。

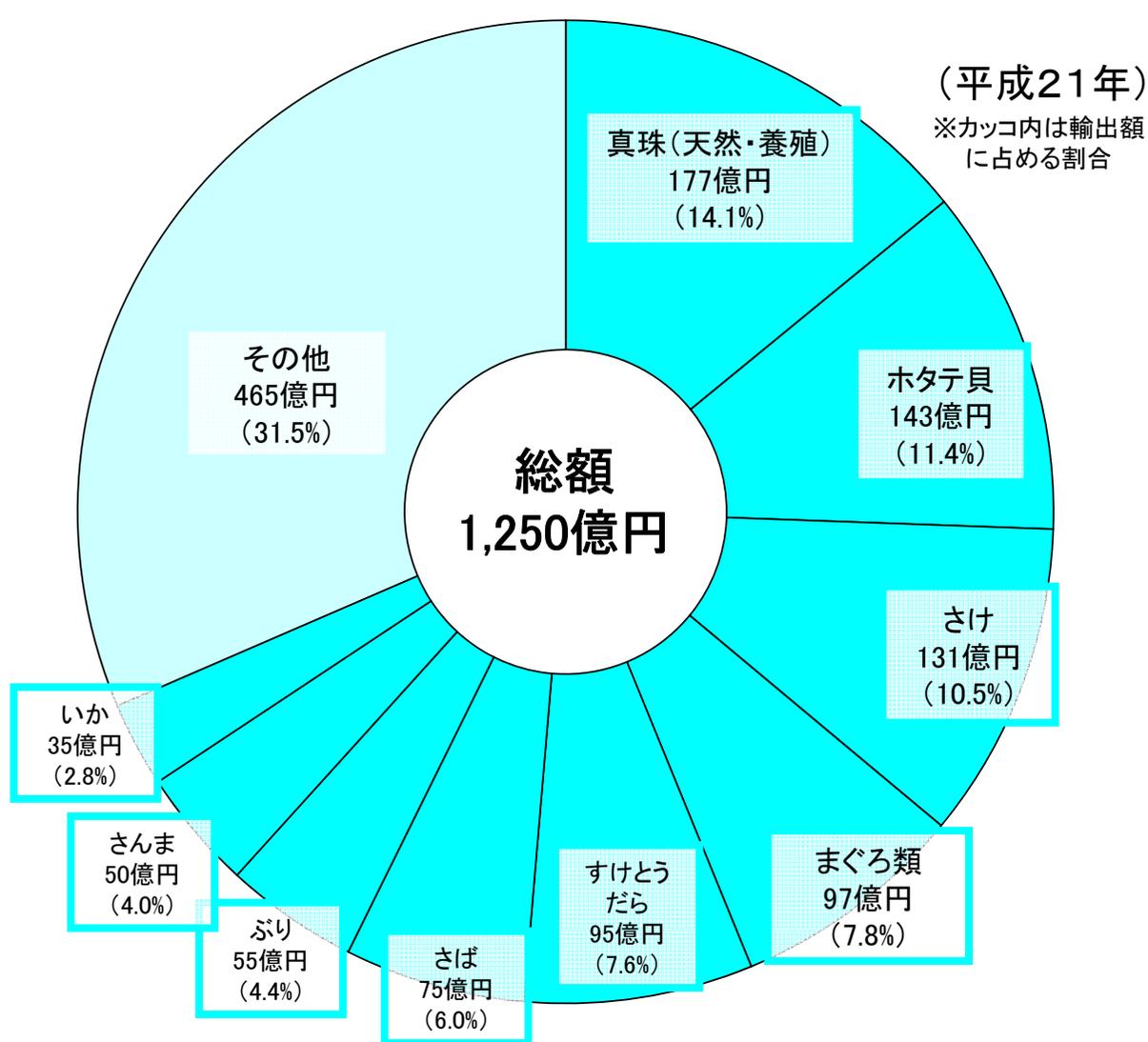




水産物(水産調製品以外)の品目別内訳

MAFF

●水産物(水産調製品以外)の品目別内訳をみると、真珠(天然・養殖)、ホタテ貝、さけ、まぐろ類、すけとうだらなどの割合が多い。



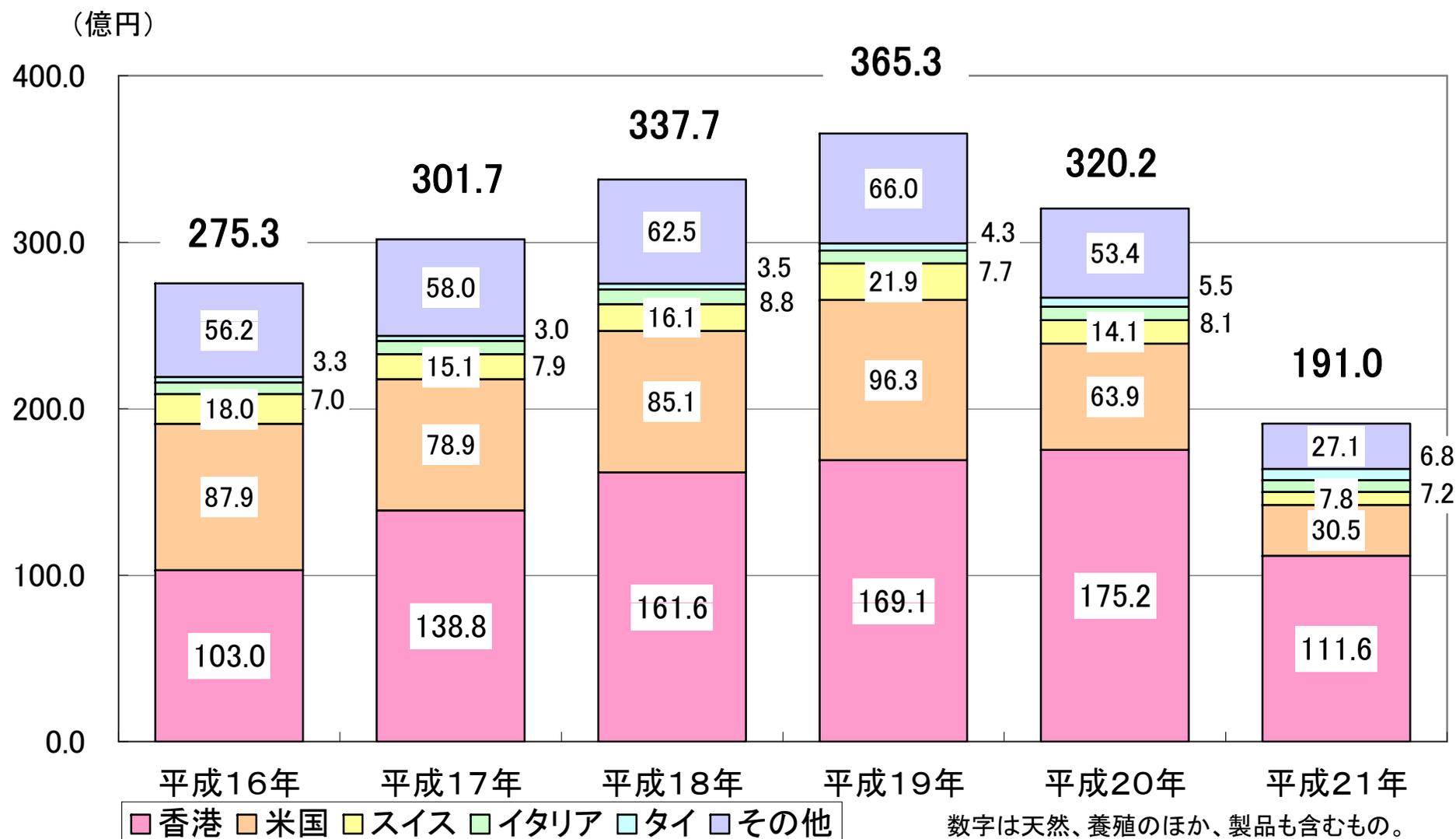
(単位:億円)

品目名	平成20年	平成21年	対前年比
真珠(天然・養殖)	305.6	176.6	▲42.2%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	149.1	142.8	▲4.2%
さけ(生・蔵・凍)	101.0	130.7	29.4%
まぐろ類(生・蔵・凍)	94.5	97.1	2.7%
すけとうたら(生・蔵・凍)	71.3	94.6	32.7%
さば(冷蔵・冷凍)	148.4	74.9	▲49.5%
ぶり(生・蔵・凍)	38.8	55.1	42.1%
さんま(冷凍)	46.1	49.7	7.8%
いか(生・蔵・凍)	40.7	35.1	▲13.9%
たい(活・凍)	37.1	25.1	▲32.4%
錦鯉等	22.2	22.3	0.4%
かつお類(生・蔵・凍)	101.2	21.9	▲78.3%
ほや(活・生・蔵)	15.0	15.5	3.3%
さんご	10.0	13.4	34.4%
干しのり 焼きのり 味付けのり	17.0	13.2	▲22.3%
たら(生・蔵・凍、すけとう除く)	19.1	11.9	▲37.6%
かに(冷凍)	11.3	10.3	▲9.1%
さめ(生・蔵・凍)	9.1	8.0	▲11.8%
乾こんぶ	5.1	7.9	55.6%
うなぎ(活)	5.0	7.3	43.9%
魚油(肝油除く)	12.4	7.2	▲42.2%
さめのひれ	8.5	6.4	▲24.6%
えび(冷凍)	7.2	5.3	▲27.2%
たこ(活・生・蔵・凍・塩・乾)	6.6	4.6	▲30.7%
めろ(生・蔵・凍)	3.5	2.9	▲18.3%
めかじき(生・蔵・凍)	0.5	1.7	231.4%
寒天	1.8	1.5	▲17.6%
魚粉	0.9	1.1	29.3%
その他	285.0	205.5	▲27.9%
水産物(水産調製品以外)計	1,574.2	1,249.5	▲20.6%



真珠(製品含む)の輸出額・輸出先国の推移

- 真珠は輸出額が300億円を超える、我が国の主力輸出産品。
- 平成21年の輸出額は大きく減少。



数字は天然、養殖のほか、製品も含むもの。

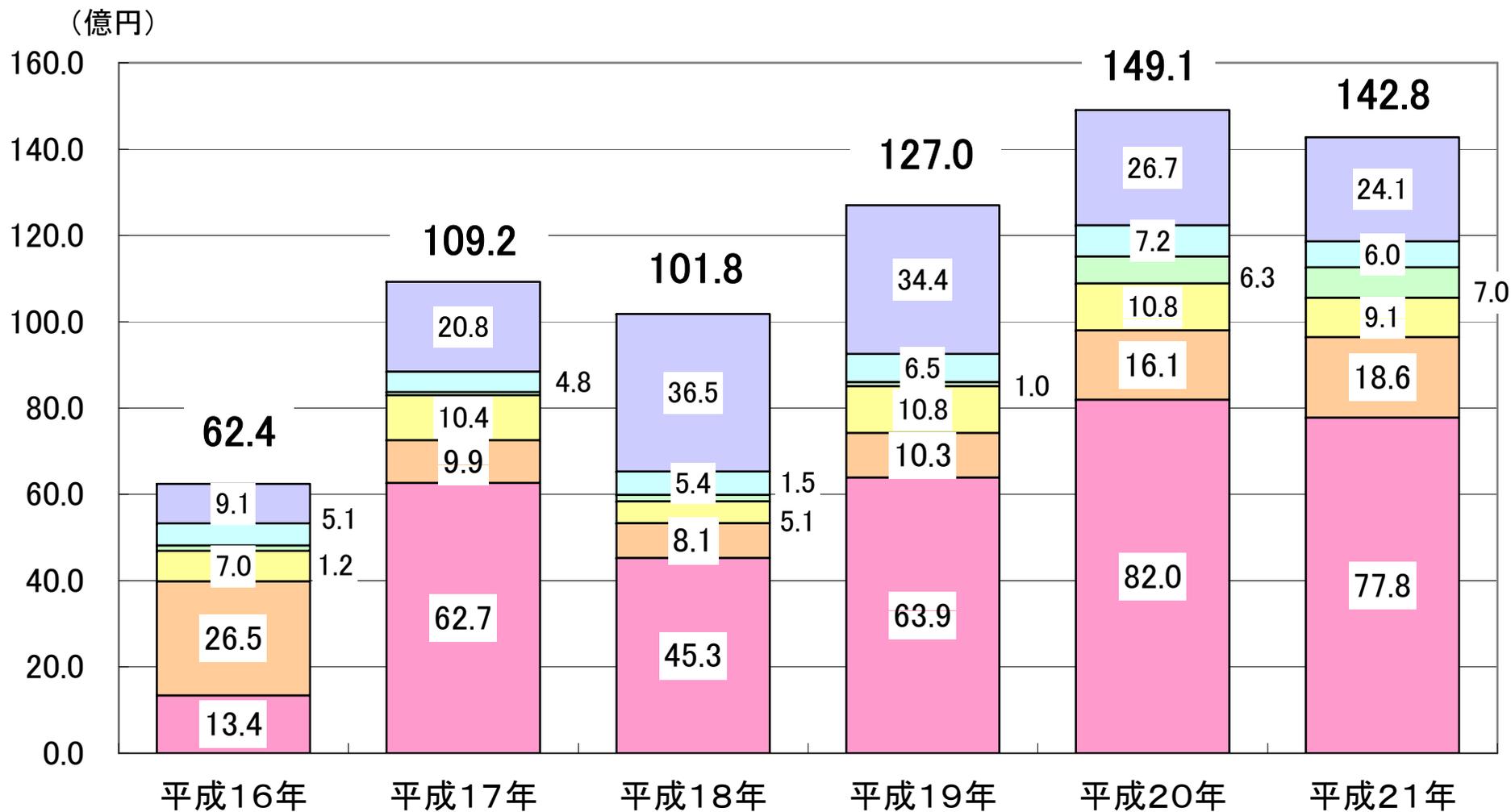
資料：財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -32-



ホタテ貝の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●ホタテ貝は輸出額が100億円を超える、我が国の主力輸出産品。



■ 米国 ■ 香港 ■ 台湾 ■ 中国 ■ オーストラリア ■ その他

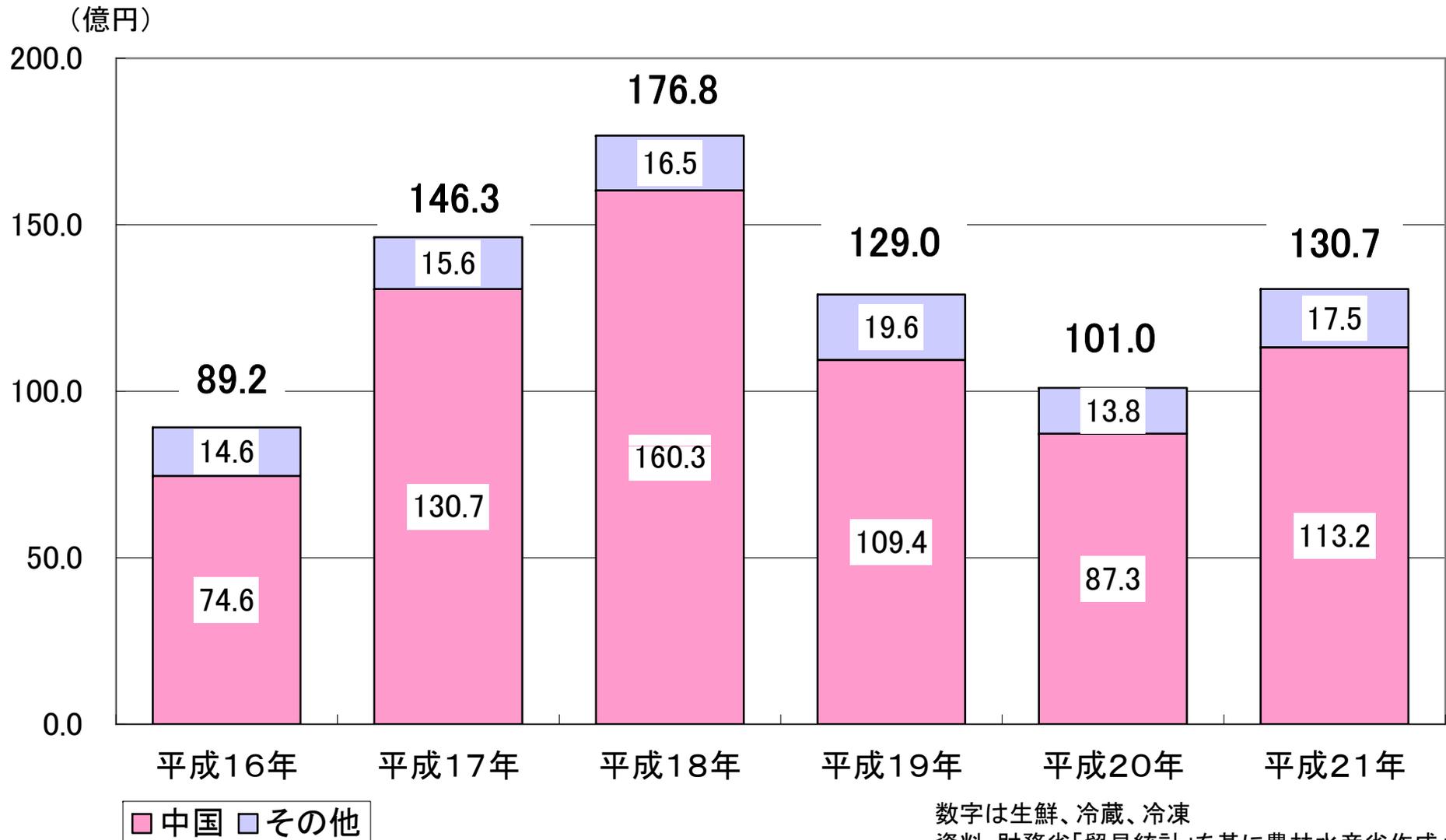
数字は生鮮、冷蔵、冷凍、塩蔵、乾燥

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -33-



さけの輸出額・輸出先国の推移

- さけは輸出額が100億円を超える、我が国の主力輸出産品。
- 中国の加工工場で加工され、最終的には欧米向けに輸出されている。



数字は生鮮、冷蔵、冷凍

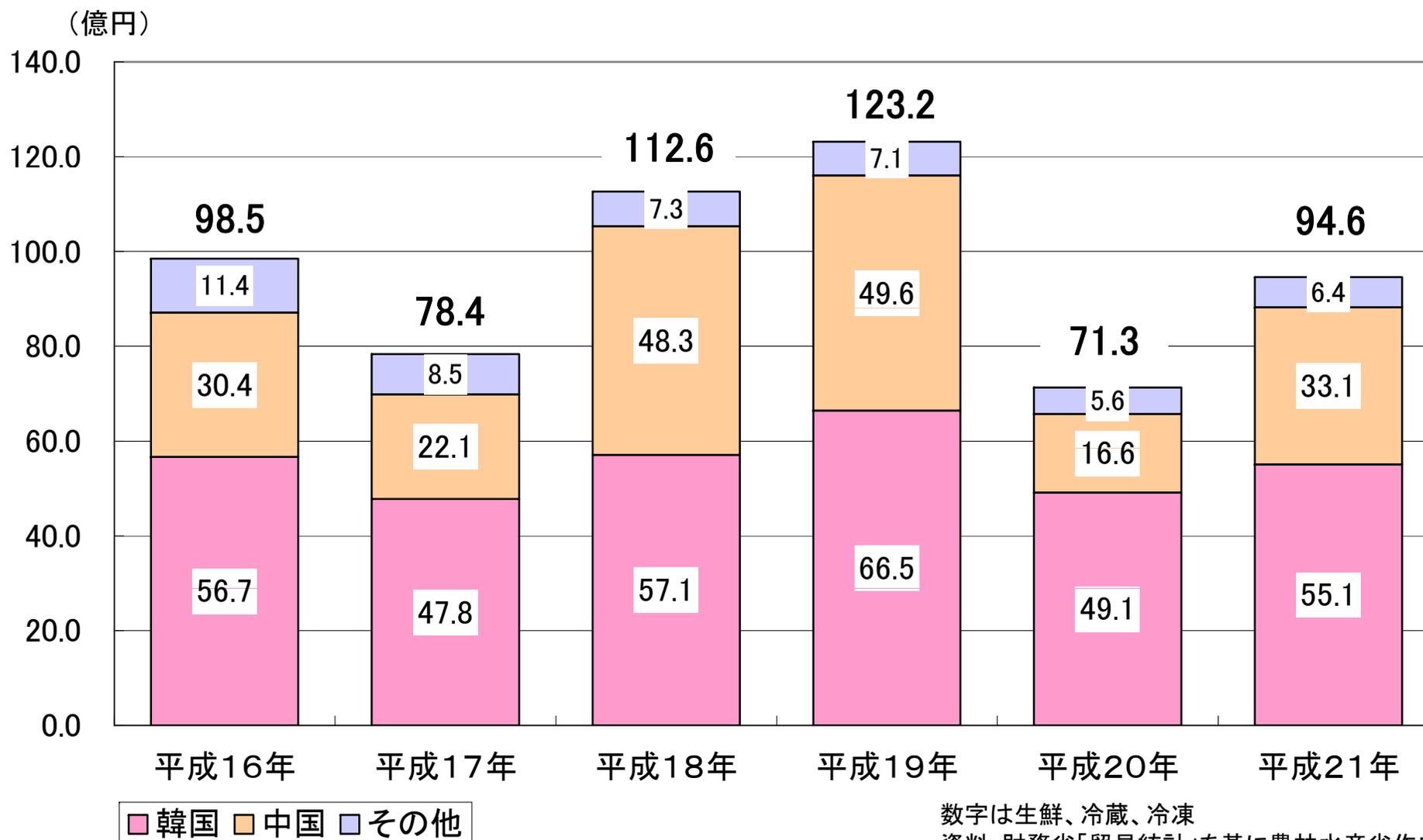
資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -34-



すけとうだらの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- すけとうだらの輸出額は近年、100億円前後で推移。
- 韓国では「明太(ミョンテ)」と呼ばれ、スープなど様々な料理に使う食材として重宝されている。



数字は生鮮、冷蔵、冷凍

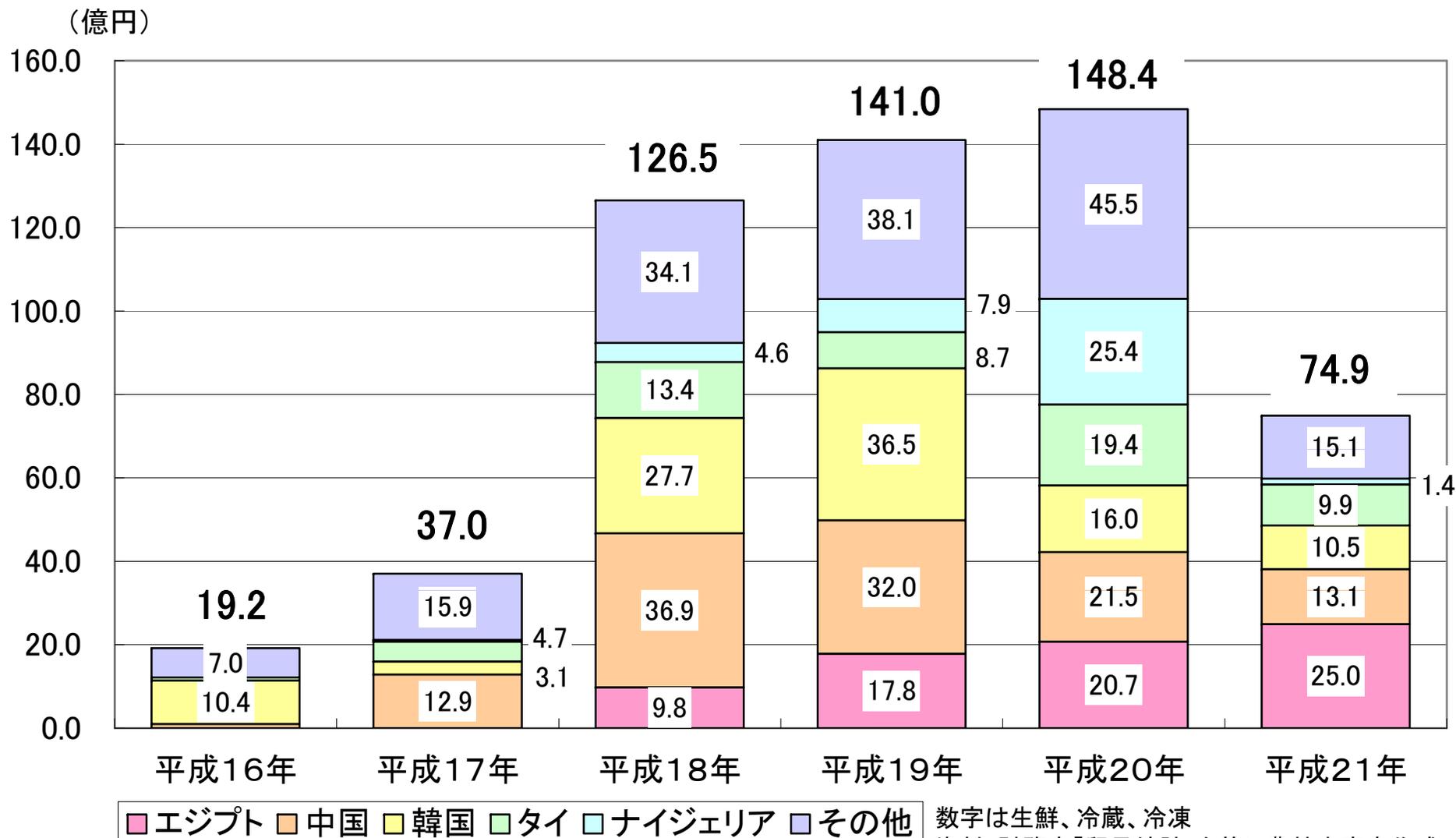
資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -35-



さばの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- エジプトやナイジェリア向けには現地消費用、中国やタイ向けには加工原料用として輸出されている。
- 平成21年は水揚量の減少等により、輸出額が大きく減少。

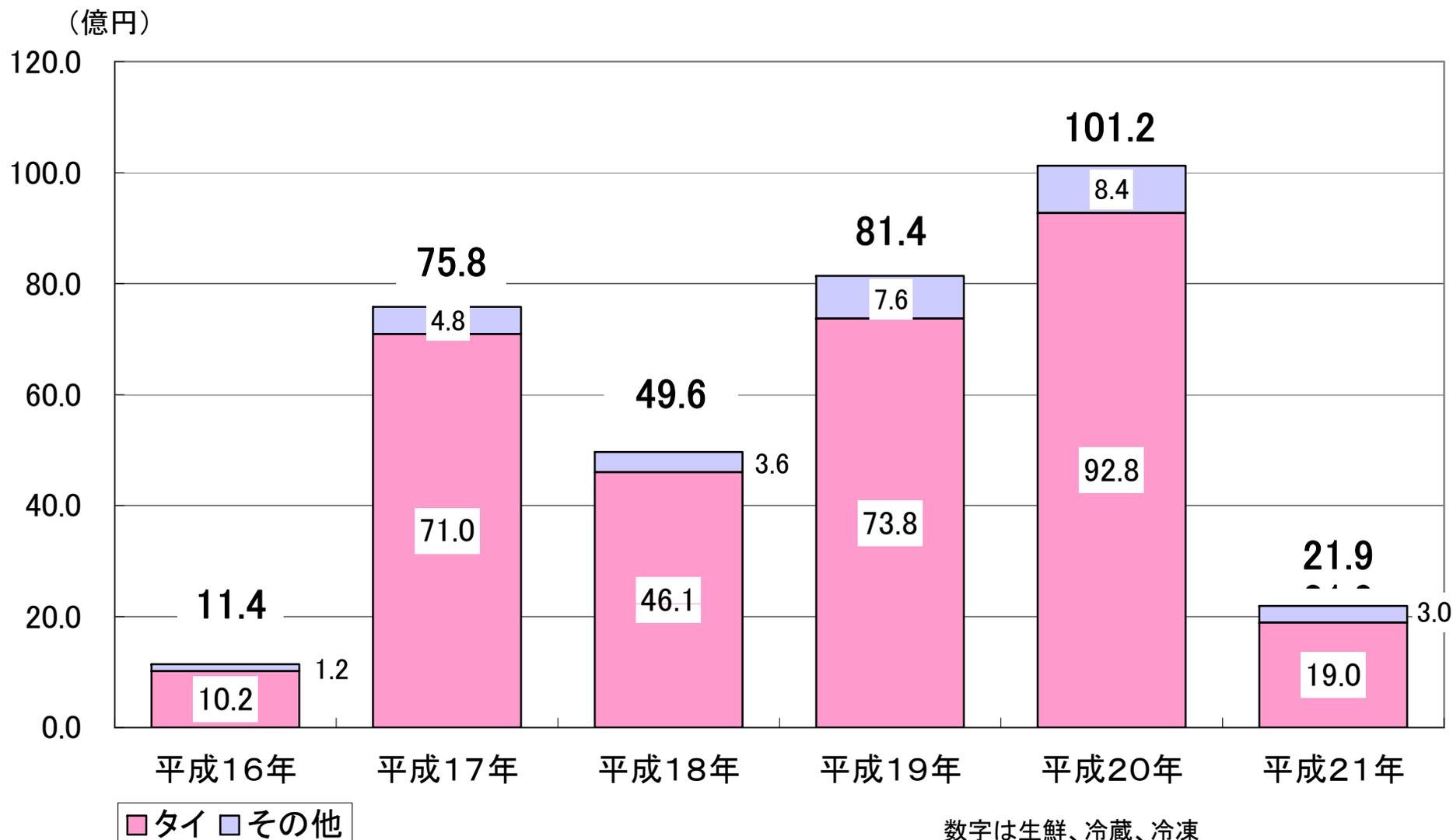




かつおの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●平成21年のかつおの輸出は、水揚量の減少やバンコク相場の急落により大幅に減少。



数字は生鮮、冷蔵、冷凍

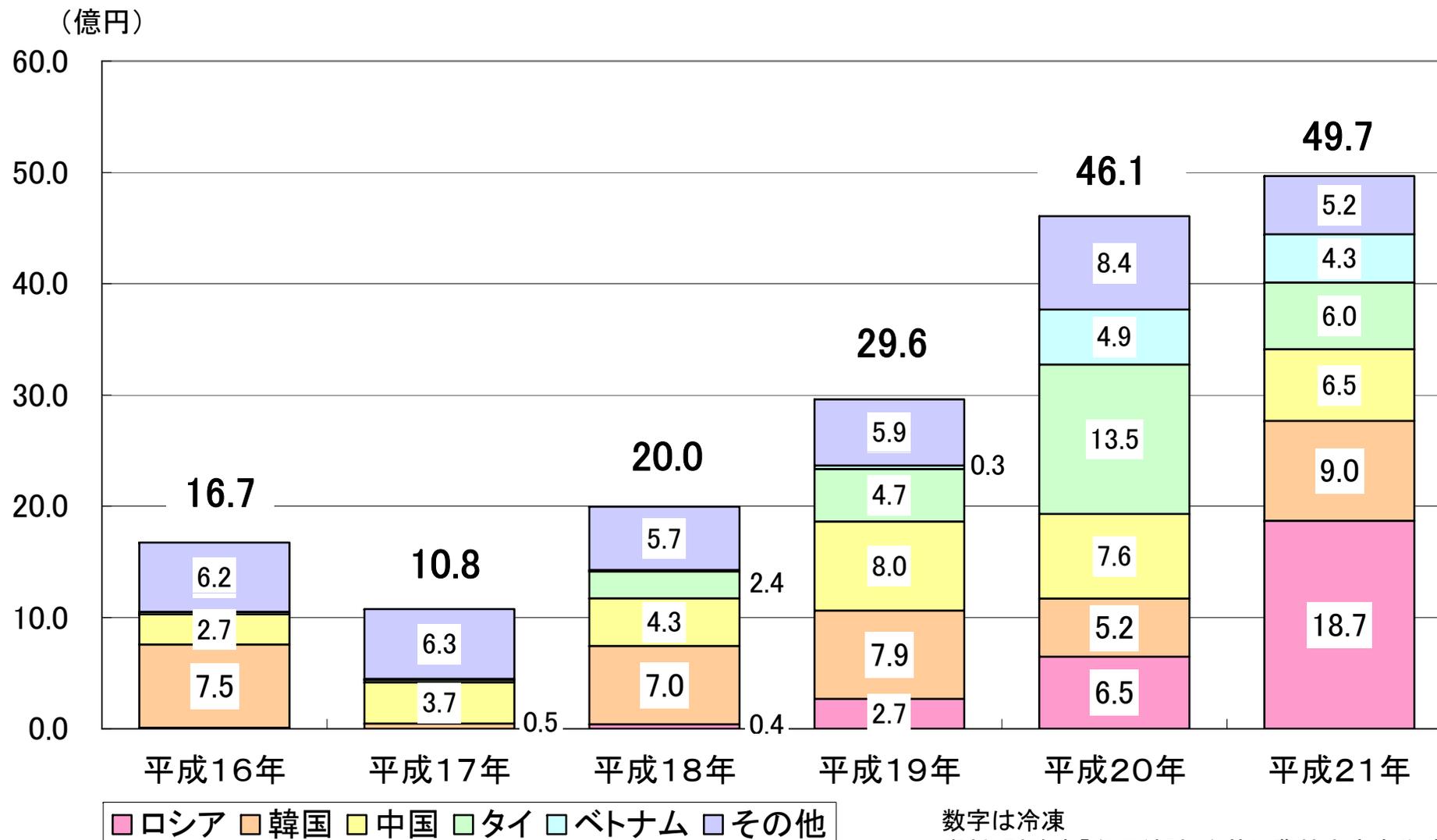
資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -37-



さんまの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●さんまの輸出額は近年、順調に推移。



数字は冷凍

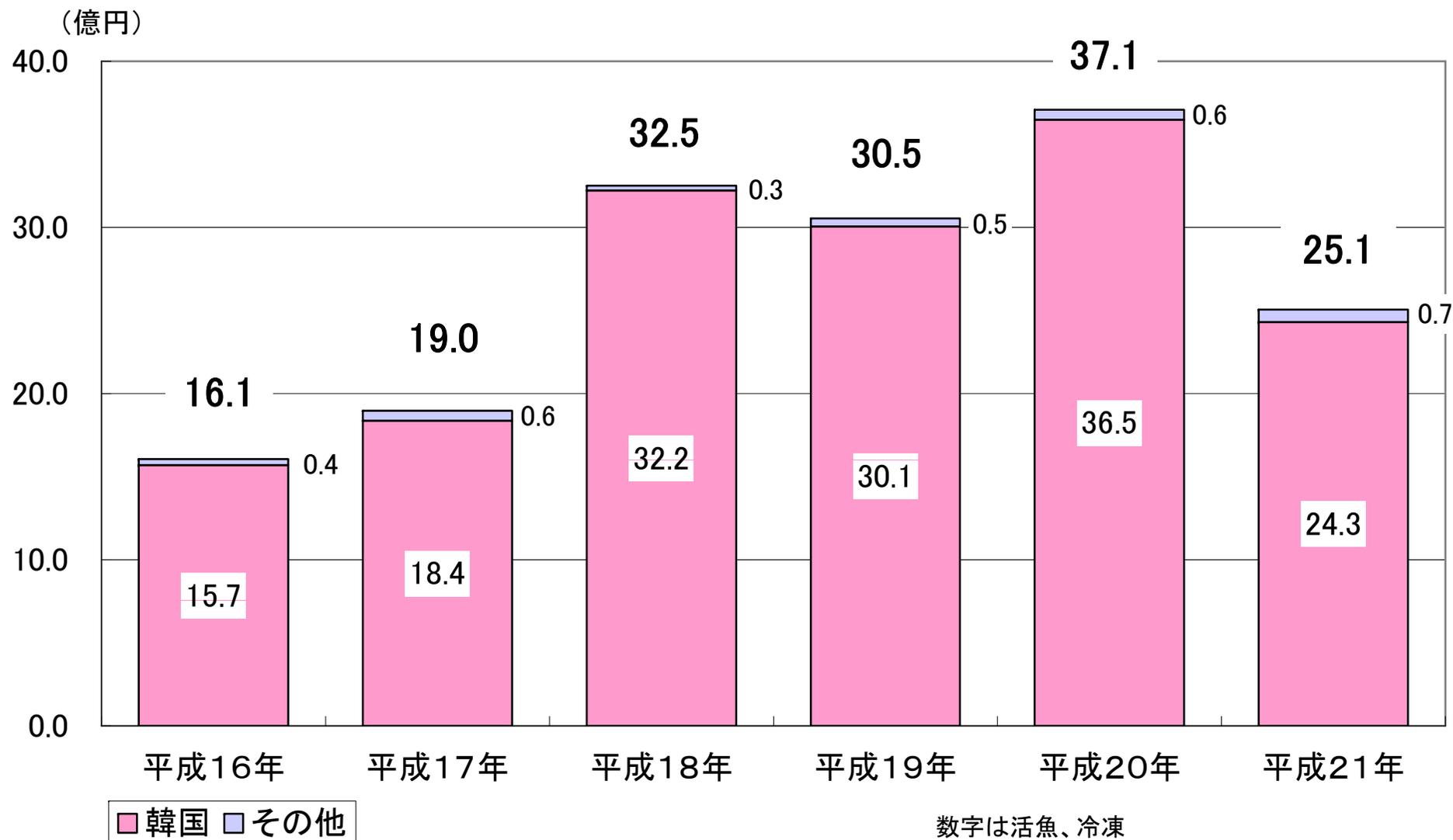
資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -38-



たいの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●たいについては、韓国向けの輸出が近年、傾向的に増加。



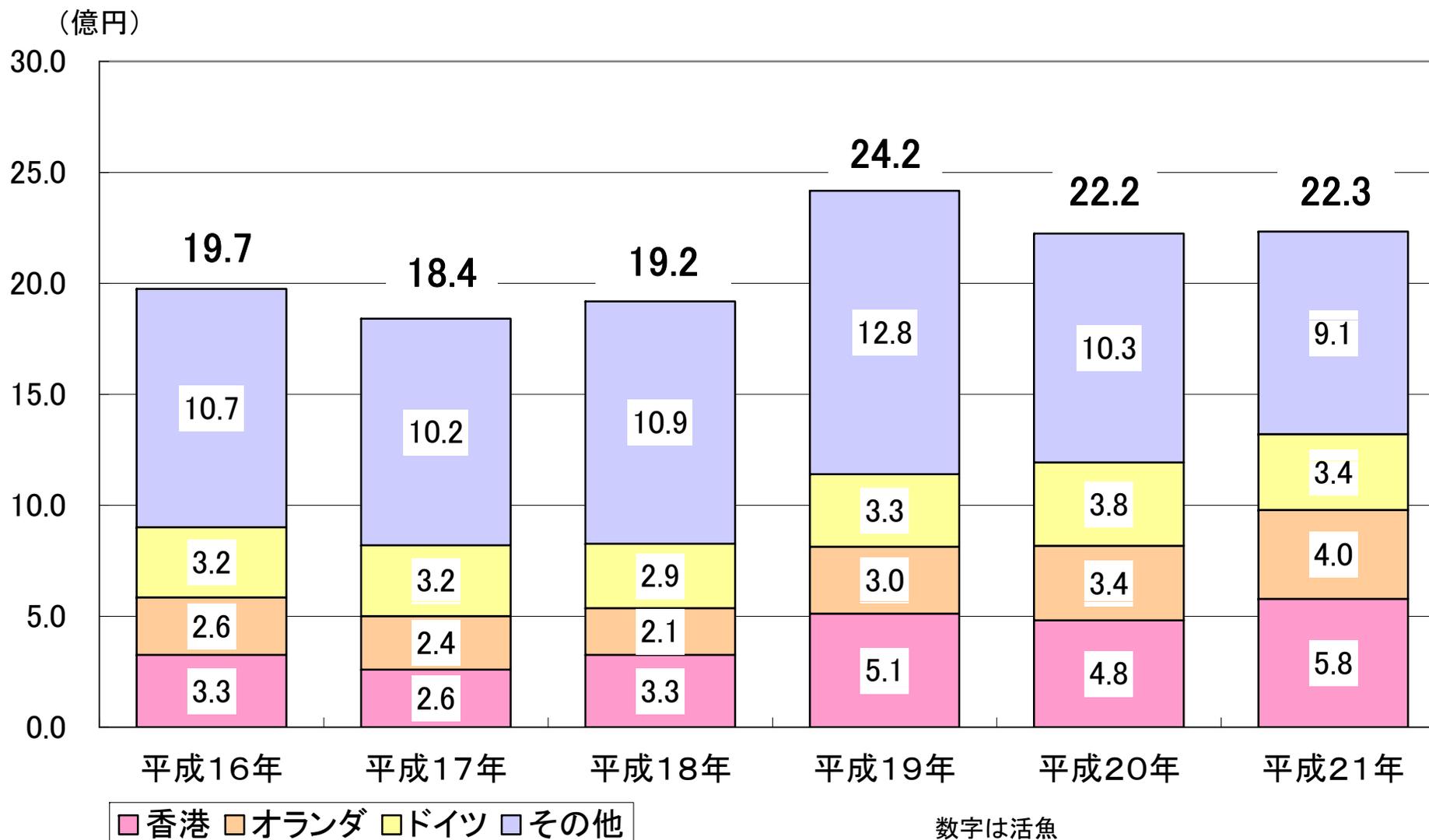
数字は活魚、冷凍

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -39-



錦鯉等の輸出額・輸出先国の推移

●欧米やアジアの富裕層を中心に、錦鯉が人気。盆栽と並んで、日本文化の象徴として楽しまれている。



数字は活魚

資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成 -40-



水産調製品の品目別内訳

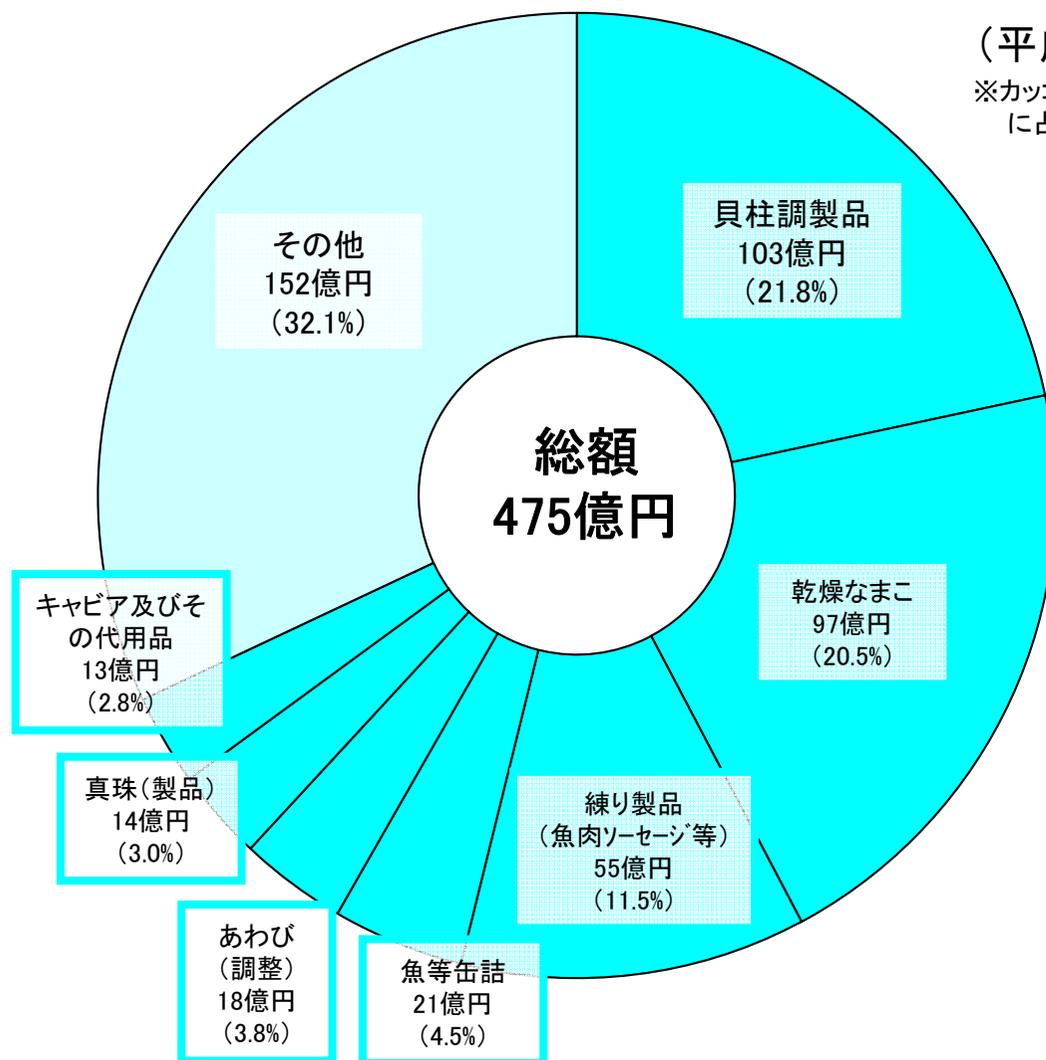
MAFF

●水産調製品の品目別内訳をみると、貝柱調製品、乾燥なまこ、練り製品などの割合が多い。

(単位:億円)

(平成21年)

※カッコ内は輸出額に占める割合



品目名	平成20年	平成21年	対前年比
貝柱調製品	81.6	103.4	26.7%
乾燥なまこ	133.2	97.3	▲26.9%
練り製品 (魚肉ソーセージ等)	61.4	54.8	▲10.7%
魚等缶詰	15.0	21.2	41.2%
あわび (調整)	27.3	18.0	▲34.1%
真珠 (製品)	14.6	14.4	▲1.6%
キャビア及びその代用品	15.6	13.5	▲13.3%
その他	154.0	152.2	▲1.2%
水産調製品計	502.6	474.7	▲5.6%

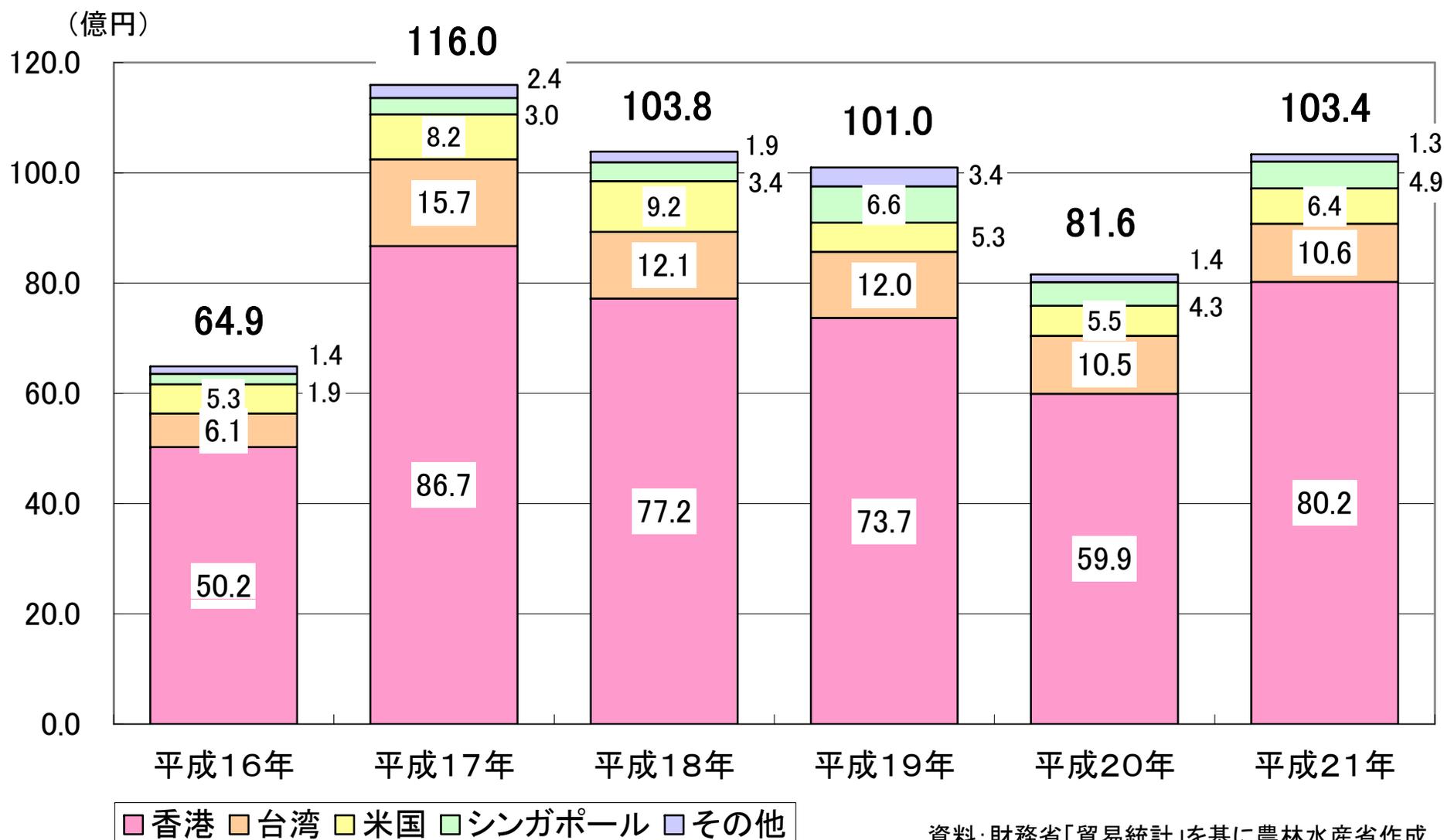
※あわび、乾燥なまこ…中華料理の高級食材として使用
※キャビア及びその代用品…いくら、たらこなど



貝柱調製品の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 貝柱調製品は輸出額が100億円を超える我が国の主力輸出産品。
- ホタテ貝の干し貝柱が中心であるとみられ、香港において中華料理の食材として使われている。

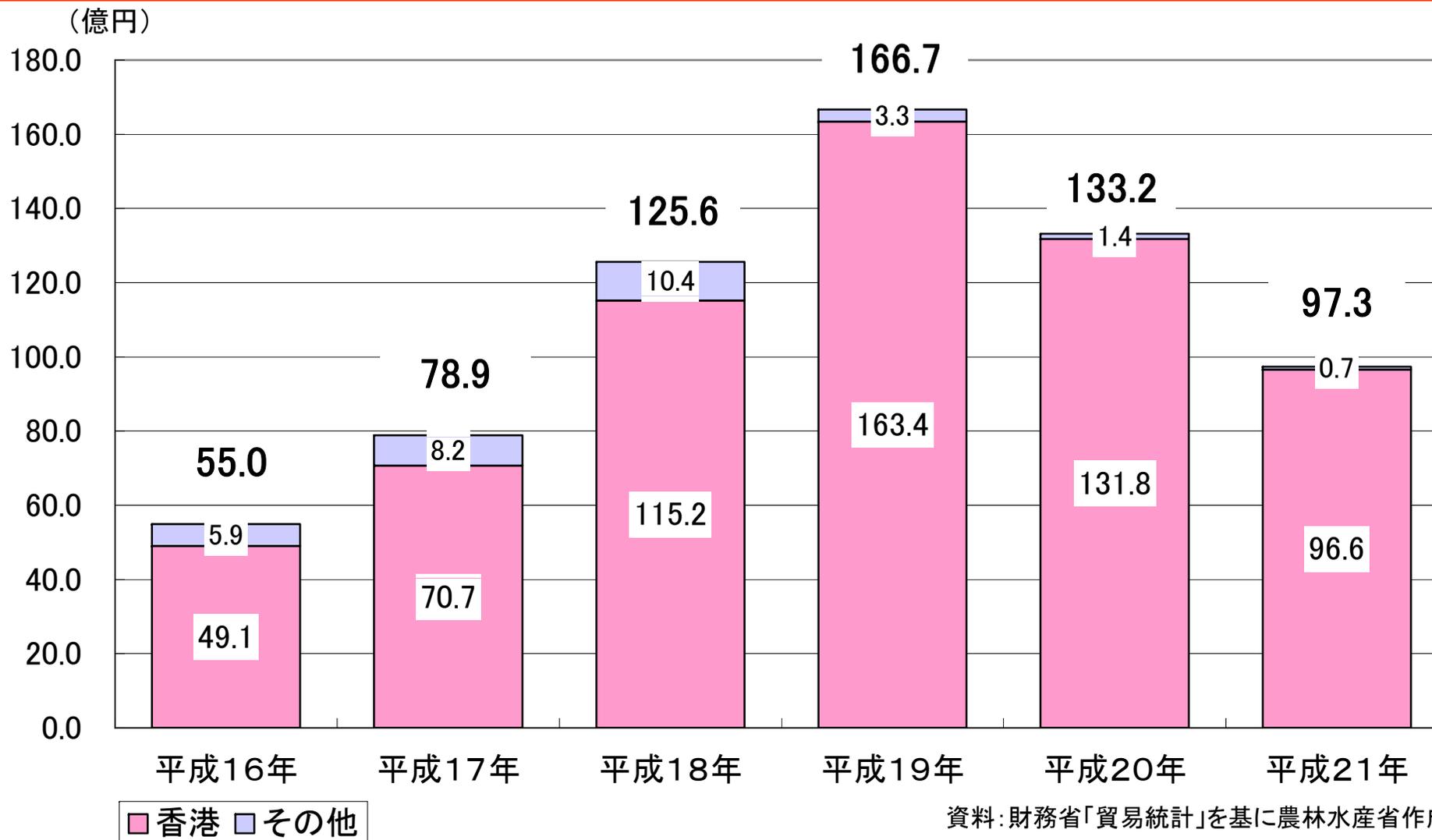


資料：財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



乾燥なまこの輸出額・輸出先国の推移

- 乾燥なまこは輸出額が100億円前後となっており、我が国の主力輸出品。
- 「黒いダイヤ」と称され、香港では高級中華料理の食材として人気。
- 近年、乾燥ではなく塩蔵による輸出にシフトしたことにより、乾燥なまこの輸出額は減少。
(塩蔵なまこの輸出額は統計上把握できない。)



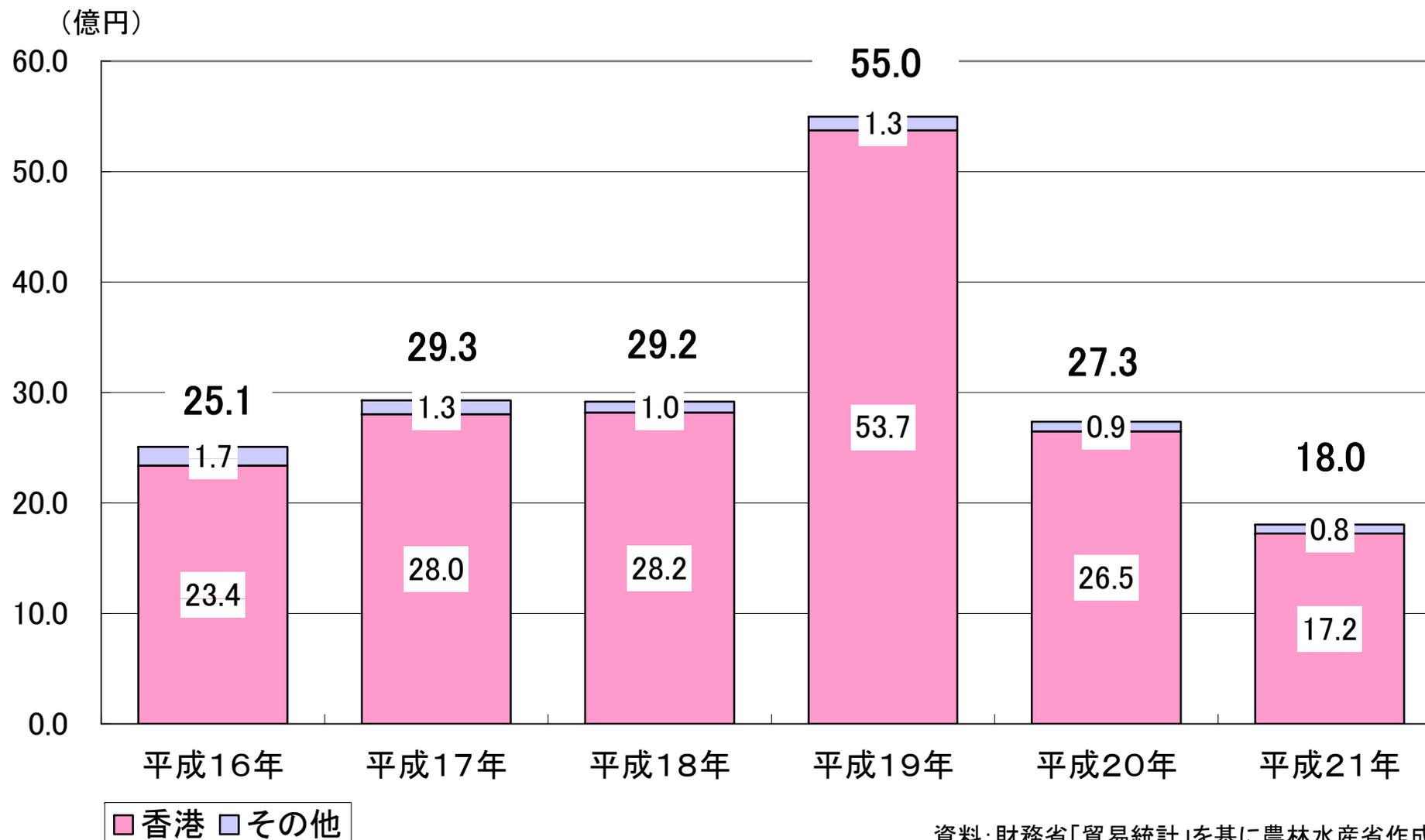
資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成



あわび(調整)の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●あわび(調整)は香港において、高級中華料理の食材として人気。



資料:財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成